

企業経営者意識調査

令和2年7-9月の概要

P 1

調査結果

- | | | |
|---|---------------|------|
| 1 | 経営状況 | P 4 |
| 2 | 雇用状況 | P 8 |
| 3 | 在庫、価格水準 | P 12 |
| 4 | 設備投資の状況 | P 14 |
| 5 | 地域別にみる各産業の動向 | P 16 |
| 6 | 道内の景況感 | P 24 |
| 7 | 業種・地域別企業経営者の声 | P 25 |
| 8 | 業況感の長期推移 | P 30 |
- 

特別調査

- | | |
|--------------------------|------|
| 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について | P 31 |
|--------------------------|------|

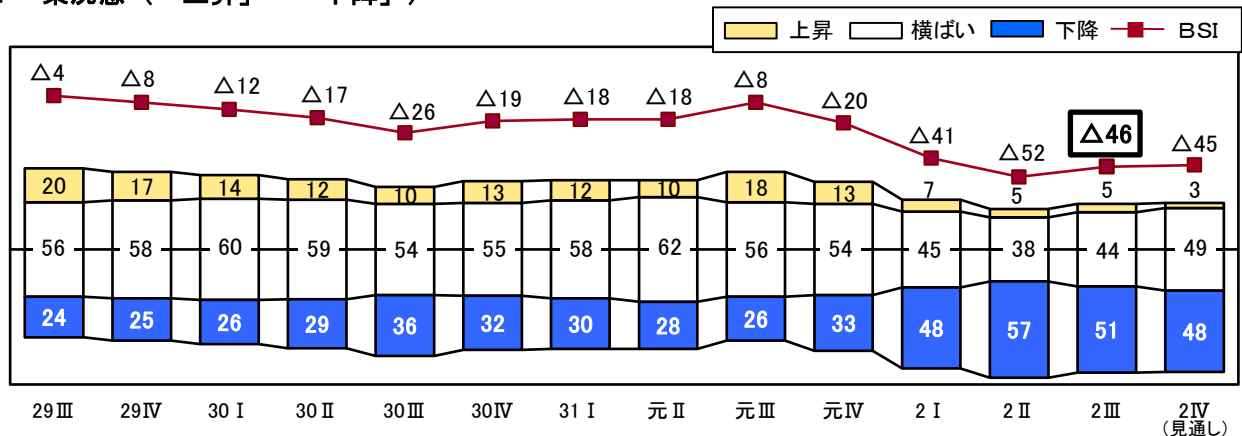
調査方法

P 40

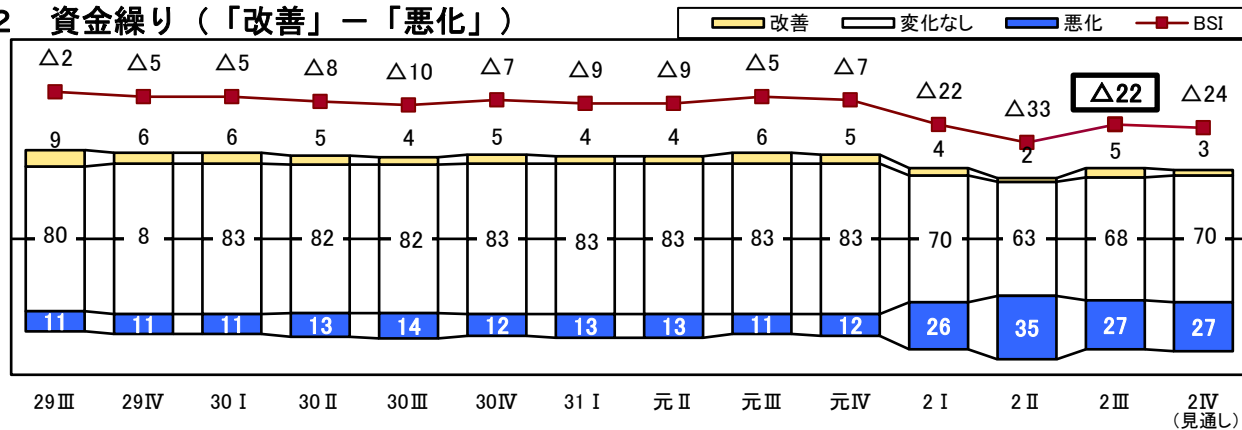
1 令和2年7-9月の概要

- 調査対象企業数 900 社、回答社数 633 社、回答率 70.3%
- 業況感は、前期から 6 ポイント上昇し、 $\Delta 46$ ポイント。(4 期ぶりに上昇)
 - ・ 業種別では、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業で上昇。運輸業で下降。
 - ・ 地域別では、道南、道央、道北、十勝、釧路・根室で上昇、オホーツクで下降。
 - ・ 来期(10-12 月)見通しは、今期から 1 ポイント上昇し、 $\Delta 45$ ポイント。
- 資金繰りは、前期から 11 ポイント上昇し、 $\Delta 22$ ポイント。
- 雇用者の不足感は、前期から 11 ポイント上昇し、32 ポイント。

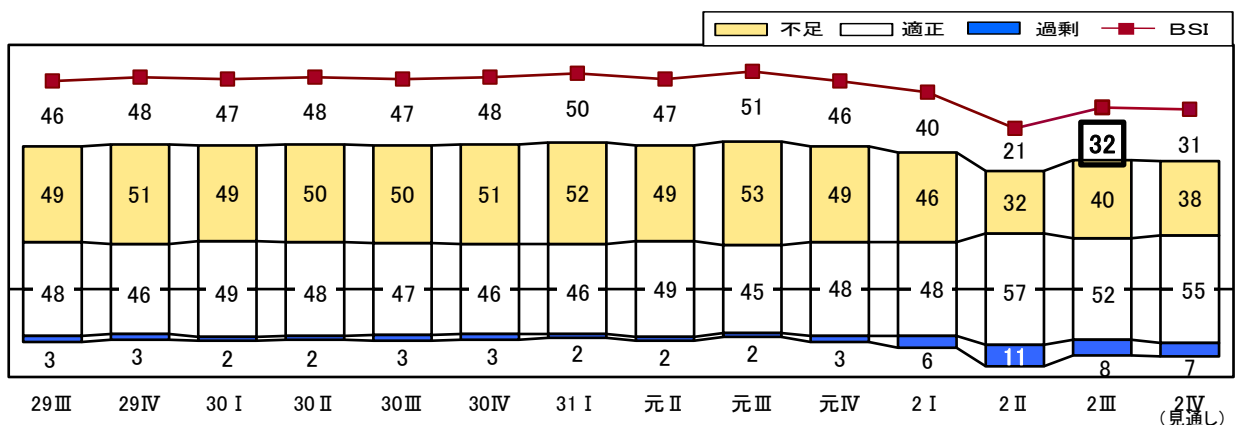
1 業況感(「上昇」－「下降」)



2 資金繰り(「改善」－「悪化」)



3 雇用者の不足感(「不足」－「過剰」)



4 業種・地域別の業況感

ア 実績と見通し

区 分		R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総 計		△ 52	5	44	51	△ 46	6	3	49	48	△ 45	1
業 種	建設業	△ 21	7	73	20	△ 13	8	3	71	26	△ 23	△ 10
	製造業	△ 48	9	42	49	△ 40	8	3	50	47	△ 44	△ 4
	卸売・小売業	△ 61	4	33	63	△ 59	2	5	44	51	△ 46	13
	運輸業	△ 52	3	39	58	△ 55	△ 3	2	41	57	△ 55	0
	サービス業	△ 67	3	40	57	△ 54	13	3	43	54	△ 51	3
資 本 金	5千万円未満	△ 57	4	42	54	△ 50	7	3	47	50	△ 47	3
	5千万以上～1億円未満	△ 45	5	48	47	△ 42	3	3	50	47	△ 44	△ 2
	1億円以上	△ 44	8	50	42	△ 34	10	4	52	44	△ 40	△ 6
地 域	道南	△ 56	9	42	49	△ 40	16	4	53	43	△ 39	1
	道央	△ 50	4	45	51	△ 47	3	2	49	49	△ 47	0
	道北	△ 55	6	43	51	△ 45	10	3	52	45	△ 42	3
	オホーツク	△ 48	3	41	56	△ 53	△ 5	5	41	54	△ 49	4
	十勝	△ 62	4	50	46	△ 42	20	5	48	47	△ 42	0
	釧路・根室	△ 53	6	42	52	△ 46	7	3	48	49	△ 46	0

イ 主な上昇・下降業種（中分類）

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 (▲21→▲13)	総合工事業 (▲14→▲7)、設備工事業 (▲64→▲45)	
製造業 (▲48→▲40)	食料品製造業 (▲52→▲41)、化学工業 (▲40→▲33) パルプ・紙・紙加工品製造業 (▲60→▲40)、 窯業・土石製品製造業 (▲45→▲11)、 金属製品製造業 (▲54→▲42)、 生産用機械器具製造業 (▲70→▲64)、 輸送用機械器具製造業 (0→60)	木材・木製品製造業 (▲70→▲90)、
卸売・小売業 (▲61→▲59)	繊維・衣類等卸売業 (▲80→▲40) 飲食料品卸売業 (▲67→▲63)、 機械器具卸売業 (▲60→▲50) その他の卸売業 (▲71→▲37)、 織物・衣服・身の回り品小売業 (▲100→▲83) 飲食料品小売業 (▲55→▲42)	建築材料、鉱物・金属材料等 卸売業 (▲48→▲50) 機械器具小売業 (▲55→▲71)、 その他の小売業 (▲65→▲72)
運輸業 (▲52→▲55)	道路貨物運送業 (▲41→▲33)	倉庫業 (6→▲19)
サービス業 (▲67→▲54)	情報サービス業 (▲37→▲25) 物品賃貸業 (▲59→▲31)、広告業 (▲67→▲60) 技術サービス業 (▲30→▲20)、宿泊業 (▲98→▲83) 洗濯・理容・美容・浴場業 (▲86→▲64) その他の生活関連サービス業 (▲100→▲83) 廃棄物処理業 (▲43→▲38)、自動車整備業 (▲55→▲53)	

(括弧内の数字は、前期→今期の変化)

ウ 地域別の上昇・下降業種（大分類）

地 域	上昇業種（大分類）	下降業種（大分類）
道南（▲56→▲40）	建設業（0→25） 製造業（▲47→▲27） 卸売・小売業（▲81→▲74） 運輸業（▲54→▲50） サービス業（▲80→▲45）	
道央（▲50→▲47）	製造業（▲43→▲40） 卸売・小売業（▲61→▲54） サービス業（▲63→▲53）	建設業（▲15→▲26） 運輸業（▲46→▲52）
道北（▲55→▲45）	建設業（▲23→▲18） 製造業（▲53→▲50） 卸売・小売業（▲73→▲46） 運輸業（▲62→▲60） サービス業（▲64→▲52）	
オホーツク（▲48→▲53）	建設業（▲15→0） 製造業（▲50→▲30） サービス業（▲74→▲72）	卸売・小売業（▲43→▲77） 運輸業（▲46→▲88）
十勝（▲62→▲42）	建設業（▲50→▲20） 製造業（▲71→▲55） 卸売・小売業（▲75→▲62） 運輸業（▲46→▲34） サービス業（▲63→▲44）	
釧路・根室（▲53→▲46）	建設業（▲40→▲9） 運輸業（▲67→▲62） サービス業（▲75→▲66）	製造業（▲33→▲36） 卸売・小売業（▲34→▲50）

（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

2 調査結果

1 経営状況

(1) 業況感

今期の業況感BSIは△46（前期から6ポイント上昇）

- ・業種別にみると、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業でマイナス幅が縮小、運輸業でマイナス幅が拡大
- ・地域別にみると、道南、道央、道北、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、オホーツクでマイナス幅が拡大

来期の業況感BSIは△45（今期から1ポイント上昇）

図1-(1) 業況感

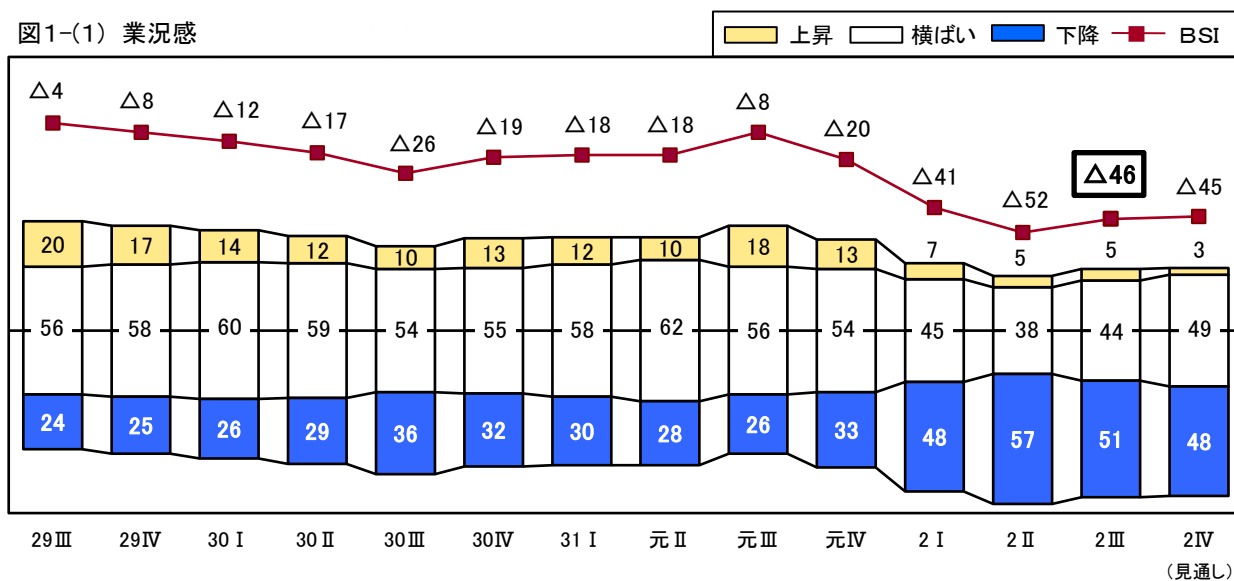


表1-(1) 業況感(業種・資本金・地域別)

区 分		R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総 計		△ 52	5	44	51	△ 46	6	3	49	48	△ 45	1
	札幌市を除く	△ 54	5	45	50	△ 45	9	4	48	48	△ 44	1
	札幌市	△ 49	4	43	53	△ 49	0	2	49	49	△ 47	2
業 種	建設業	△ 21	7	73	20	△ 13	8	3	71	26	△ 23	△ 10
	製造業	△ 48	9	42	49	△ 40	8	3	50	47	△ 44	△ 4
	卸売・小売業	△ 61	4	33	63	△ 59	2	5	44	51	△ 46	13
	運輸業	△ 52	3	39	58	△ 55	△ 3	2	41	57	△ 55	0
	サービス業	△ 67	3	40	57	△ 54	13	3	43	54	△ 51	3
資 本 金	5千万円未満	△ 57	4	42	54	△ 50	7	3	47	50	△ 47	3
	5千万円以上～1億円未満	△ 45	5	48	47	△ 42	3	3	50	47	△ 44	△ 2
	1億円以上	△ 44	8	50	42	△ 34	10	4	52	44	△ 40	△ 6
地 域	道南	△ 56	9	42	49	△ 40	16	4	53	43	△ 39	1
	道央	△ 50	4	45	51	△ 47	3	2	49	49	△ 47	0
	札幌市を除く	△ 53	4	47	49	△ 45	8	2	48	50	△ 48	△ 3
	札幌市	△ 49	4	43	53	△ 49	0	2	49	49	△ 47	2
	道北	△ 55	6	43	51	△ 45	10	3	52	45	△ 42	3
	オホーツク	△ 48	3	41	56	△ 53	△ 5	5	41	54	△ 49	4
	十勝	△ 62	4	50	46	△ 42	20	5	48	47	△ 42	0
	釧路・根室	△ 53	6	42	52	△ 46	7	3	48	49	△ 46	0

(2) 売上(生産)高

今期の売上(生産)高BSIは△51(前期から2ポイント上昇)

- ・業種別にみると、建設業、製造業、サービス業でマイナス幅が縮小、卸売・小売業、運輸業でマイナス幅が拡大
- ・地域別にみると、道南、道央、十勝でマイナス幅が縮小、道北、オホーツク、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の売上(生産)高BSIは△44(今期から7ポイント上昇)

図1-(2) 売上(生産)高

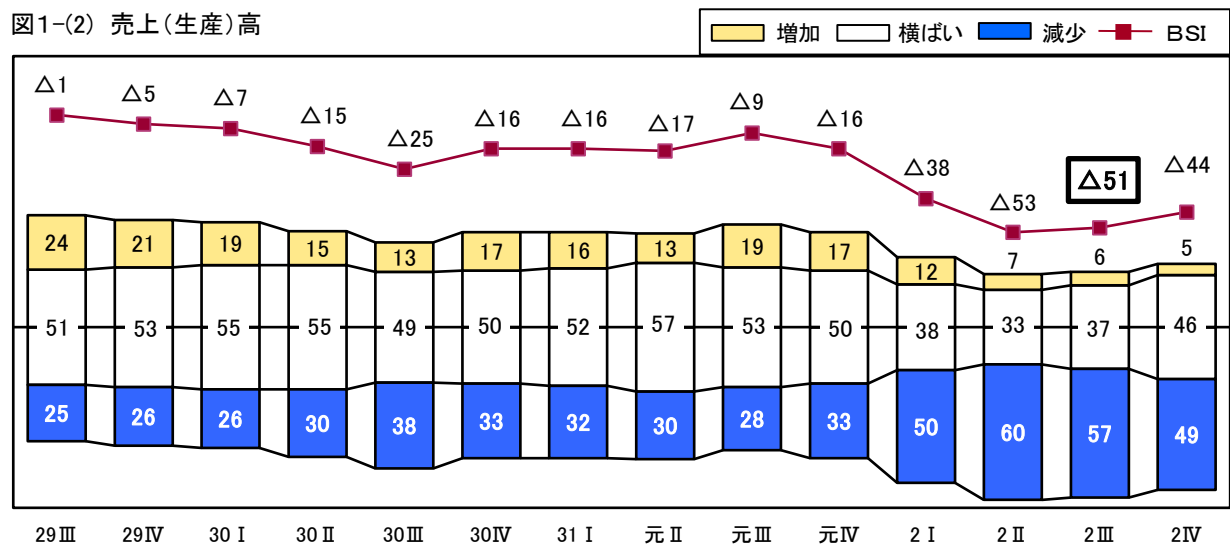


表1-(2) 売上(生産)高(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計	△ 53	6	37	57	△ 51	2	5	46	49	△ 44	7
札幌市を除く	△ 54	6	37	57	△ 51	3	5	45	50	△ 45	6
札幌市	△ 51	6	34	60	△ 54	△ 3	4	50	46	△ 42	12
業 種											
建設業	△ 24	10	60	30	△ 20	4	7	59	34	△ 27	△ 7
製造業	△ 50	12	32	56	△ 44	6	5	50	45	△ 40	4
卸売・小売業	△ 60	5	25	70	△ 65	△ 5	6	39	55	△ 49	16
運輸業	△ 51	4	36	60	△ 56	△ 5	3	42	55	△ 52	4
サービス業	△ 66	4	33	63	△ 59	7	4	43	53	△ 49	10
資 本 金											
5千万円未満	△ 58	5	35	60	△ 55	3	4	44	52	△ 48	7
5千万円以上～1億円未満	△ 47	7	37	56	△ 49	△ 2	6	49	45	△ 39	10
1億円以上	△ 42	11	41	48	△ 37	5	5	53	42	△ 37	0
地 域											
道南	△ 54	11	34	55	△ 44	10	3	50	47	△ 44	0
道央	△ 53	7	36	57	△ 50	3	4	48	48	△ 44	6
札幌市を除く	△ 55	8	39	53	△ 45	10	3	47	50	△ 47	△ 2
札幌市	△ 51	6	34	60	△ 54	△ 3	4	50	46	△ 42	12
道北	△ 52	2	40	58	△ 56	△ 4	5	45	50	△ 45	11
オホーツク	△ 48	5	30	65	△ 60	△ 12	8	40	52	△ 44	16
十勝	△ 59	7	42	51	△ 44	15	4	42	54	△ 50	△ 6
釧路・根室	△ 53	6	33	61	△ 55	△ 2	9	43	48	△ 39	16

(3) 経常利益

今期の経常利益BSIは△50（前期から8ポイント上昇）

- ・業種別にみると、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業でマイナス幅が縮小、運輸業でマイナス幅が拡大
- ・地域別にみると、道南、道央、道北、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、オホーツクでマイナス幅が拡大

来期の経常利益BSIは△45（今期から5ポイント上昇）

図1-(3) 経常利益

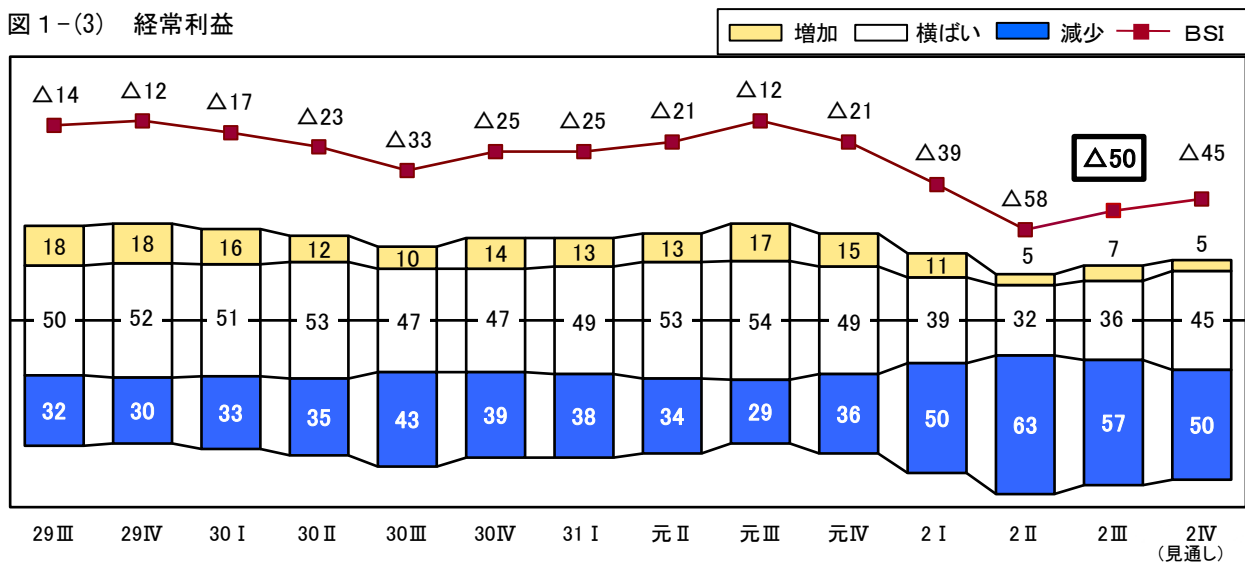


表1-(3) 経常利益(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計	△ 58	7	36	57	△ 50	8	5	45	50	△ 45	5
札幌市を除く	△ 59	7	36	57	△ 50	9	5	43	52	△ 47	3
札幌市	△ 55	5	36	59	△ 54	1	4	53	43	△ 39	15
業 種											
建設業	△ 38	8	56	36	△ 28	10	3	56	41	△ 38	△ 10
製造業	△ 62	10	28	62	△ 52	10	6	49	45	△ 39	13
卸売・小売業	△ 64	6	34	60	△ 54	10	5	44	51	△ 46	8
運輸業	△ 53	6	34	60	△ 54	△ 1	4	38	58	△ 54	0
サービス業	△ 66	6	32	62	△ 56	10	5	43	52	△ 47	9
資 本 金											
5千万円未満	△ 62	7	34	59	△ 52	10	5	42	53	△ 48	4
5千万以上～1億円未満	△ 57	6	37	57	△ 51	6	3	48	49	△ 46	5
1億円以上	△ 43	7	42	51	△ 44	△ 1	3	59	38	△ 35	9
地 域											
道南	△ 60	9	34	57	△ 48	12	5	46	49	△ 44	4
道央	△ 57	6	39	55	△ 49	8	3	49	48	△ 45	4
札幌市を除く	△ 59	7	42	51	△ 44	15	1	47	52	△ 51	△ 7
札幌市	△ 55	5	36	59	△ 54	1	4	53	43	△ 39	15
道北	△ 58	8	36	56	△ 48	10	8	43	49	△ 41	7
オホーツク	△ 49	8	29	63	△ 55	△ 6	6	38	56	△ 50	5
十勝	△ 62	7	35	58	△ 51	11	6	39	55	△ 49	2
釧路・根室	△ 66	5	32	63	△ 58	8	5	44	51	△ 46	12

(4) 資金繰り

今期の資金繰りBSIは△22（前期から11ポイント上昇）

- ・業種別にみると、すべての業種でマイナス幅が縮小
- ・地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が縮小

来期の資金繰りBSIは△24（今期から2ポイント下降）

図1-(4) 資金繰り

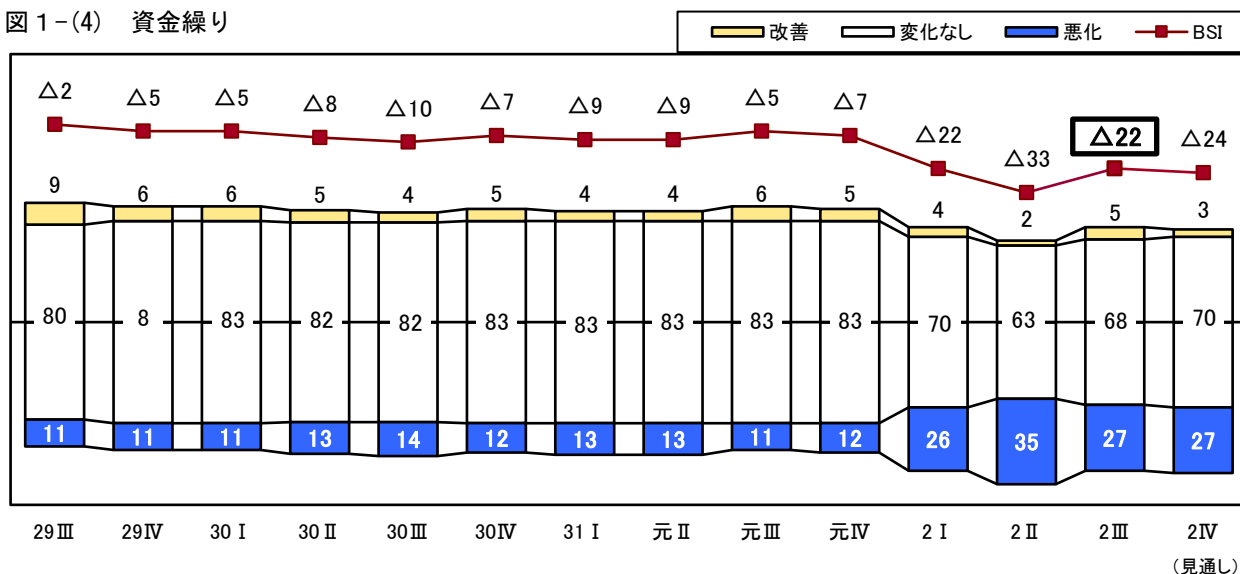


表1-(4) 資金繰り(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
		改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総 計	△ 33	5	68	27	△ 22	11	3	70	27	△ 24	△ 2
札幌市を除く	△ 34	4	69	27	△ 23	11	3	69	28	△ 25	△ 2
札幌市	△ 28	6	68	26	△ 20	8	4	72	24	△ 20	0
業 種											
建設業	△ 8	3	90	7	△ 4	4	1	89	10	△ 9	△ 5
製造業	△ 27	7	71	22	△ 15	12	4	71	25	△ 21	△ 6
卸売・小売業	△ 33	6	69	25	△ 19	14	5	73	22	△ 17	2
運輸業	△ 35	2	63	35	△ 33	2	2	63	35	△ 33	0
サービス業	△ 48	5	59	36	△ 31	17	3	61	36	△ 33	△ 2
資 本 金											
5千万円未満	△ 38	4	66	30	△ 26	12	3	67	30	△ 27	△ 1
5千万円以上～1億円未満	△ 25	7	72	21	△ 14	11	3	72	25	△ 22	△ 8
1億円以上	△ 22	3	81	16	△ 13	9	1	83	16	△ 15	△ 2
地 域											
道南	△ 38	1	73	26	△ 25	13	1	69	30	△ 29	△ 4
道央	△ 32	5	68	27	△ 22	10	3	70	27	△ 24	△ 2
札幌市を除く	△ 36	5	67	28	△ 23	13	2	68	30	△ 28	△ 5
札幌市	△ 28	6	68	26	△ 20	8	4	72	24	△ 20	0
道北	△ 26	5	70	25	△ 20	6	5	72	23	△ 18	2
オホーツク	△ 33	5	62	33	△ 28	5	5	65	30	△ 25	3
十勝	△ 33	6	73	21	△ 15	18	1	77	22	△ 21	△ 6
釧路・根室	△ 36	6	68	26	△ 20	16	3	69	28	△ 25	△ 5

2 雇用状況

(1) 雇用者総数

今期の雇用者総数BSIは $\Delta 9$ (前期から4ポイント下降)

- ・業種別にみると、卸売・小売業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業でプラス幅が縮小、製造業、運輸業でマイナス幅が拡大
- ・地域別にみると、オホーツクでマイナス幅が縮小、道南、道央、道北、十勝、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の雇用者総数BSIは $\Delta 8$ (今期から1ポイント上昇)

図2-(1) 雇用者総数

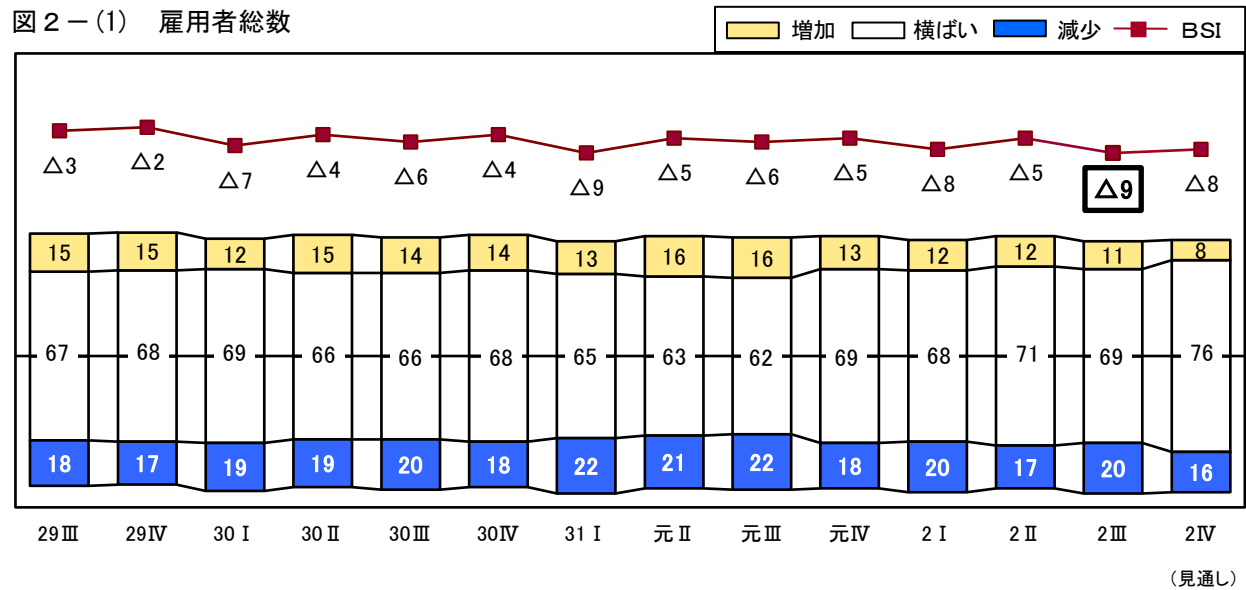


表2-(1) 雇用者総数(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計	Δ 5	11	69	20	Δ 9	Δ 4	8	76	16	Δ 8	1
札幌市を除く	Δ 8	10	69	21	Δ 11	Δ 3	8	74	18	Δ 10	1
札幌市	2	14	71	15	Δ 1	Δ 3	8	80	12	Δ 4	Δ 3
建設業	17	23	67	10	13	Δ 4	16	72	12	4	Δ 9
製造業	Δ 2	11	67	22	Δ 11	Δ 9	8	74	18	Δ 10	1
卸売・小売業	Δ 10	7	78	15	Δ 8	2	5	86	9	Δ 4	4
運輸業	Δ 11	5	67	28	Δ 23	Δ 12	6	74	20	Δ 14	9
サービス業	Δ 14	10	67	23	Δ 13	1	8	71	21	Δ 13	0
5千万円未満	Δ 10	8	70	22	Δ 14	Δ 4	6	78	16	Δ 10	4
5千万以上～1億円未満	0	14	68	18	Δ 4	Δ 4	13	69	18	Δ 5	Δ 1
1億円以上	8	21	67	12	9	1	11	75	14	Δ 3	Δ 12
道南	Δ 7	7	77	16	Δ 9	Δ 2	4	83	13	Δ 9	0
道央	1	14	72	14	0	Δ 1	9	80	11	Δ 2	Δ 2
札幌市を除く	0	13	73	14	Δ 1	Δ 1	9	81	10	Δ 1	0
札幌市	2	14	71	15	Δ 1	Δ 3	8	80	12	Δ 4	Δ 3
道北	Δ 19	6	63	31	Δ 25	Δ 6	8	62	30	Δ 22	3
オホーツク	Δ 15	12	66	22	Δ 10	5	6	78	16	Δ 10	0
十勝	Δ 3	13	65	22	Δ 9	Δ 6	12	68	20	Δ 8	1
釧路・根室	Δ 5	8	64	28	Δ 20	Δ 15	11	69	20	Δ 9	11

(2) 雇用者の不足感 (「不足」－「過剰」)

今期の雇用者の不足感BSIは32(前期から11ポイント上昇)

- ・業種別にみると、すべての業種でプラス幅が拡大
- ・地域別にみると、すべての地域でプラス幅が拡大

来期の雇用者の不足感BSIは31(今期から1ポイント下降)

図2-(2) 雇用者の不足感

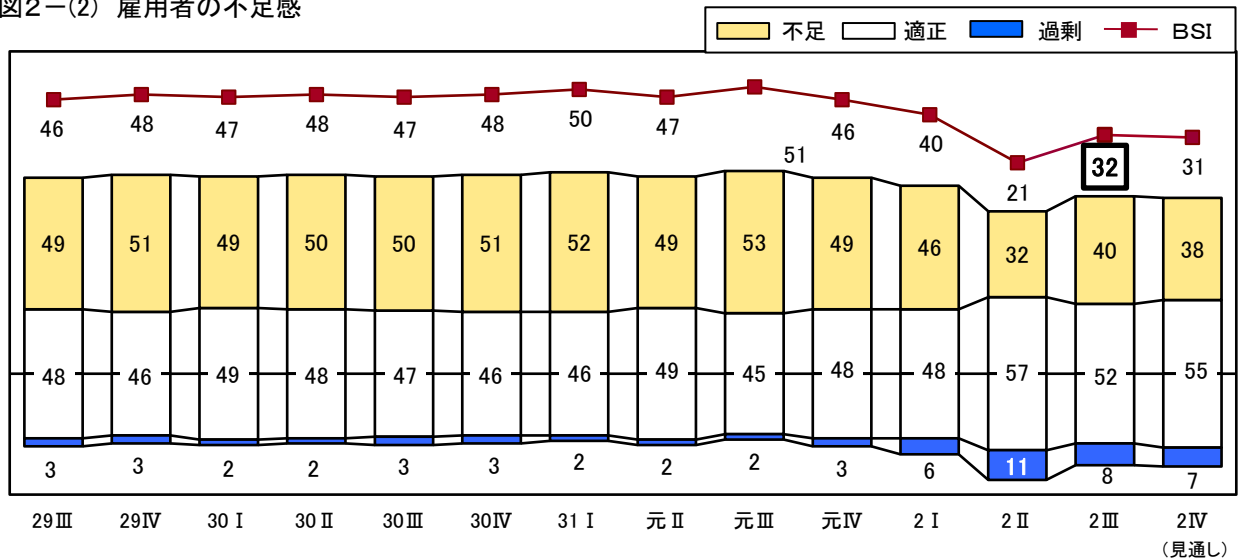


表2-(2) 雇用者の不足感(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
		不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総 計	21	40	52	8	32	11	38	55	7	31	△ 1
札幌市を除く	21	41	53	6	35	14	38	56	6	32	△ 3
札幌市	16	34	53	13	21	5	37	53	10	27	6
業 種											
建設業	51	60	40	0	60	9	59	41	0	59	△ 1
製造業	25	35	59	6	29	4	35	59	6	29	0
卸売・小売業	9	30	60	10	20	11	28	65	7	21	1
運輸業	31	49	48	3	46	15	47	49	4	43	△ 3
サービス業	3	33	54	13	20	17	30	58	12	18	△ 2
資 本 金											
5千万円未満	20	39	53	8	31	11	37	56	7	30	△ 1
5千万以上～1億円未満	20	42	52	6	36	16	42	52	6	36	0
1億円以上	24	37	55	8	29	5	36	56	8	28	△ 1
地 域											
道南	15	27	65	8	19	4	27	68	5	22	3
道央	14	32	58	10	22	8	32	60	8	24	2
札幌市を除く	13	31	61	8	23	10	26	67	7	19	△ 4
札幌市	16	34	53	13	21	5	37	53	10	27	6
道北	39	61	37	2	59	20	62	35	3	59	0
オホーツク	28	44	48	8	36	8	40	54	6	34	△ 2
十勝	16	46	47	7	39	23	38	54	8	30	△ 9
釧路・根室	21	43	54	3	40	19	38	57	5	33	△ 7

(3) 残業時間

今期の残業時間BSIは△33（前期から12ポイント上昇）

- ・業種別にみると、すべての業種でマイナス幅が縮小
- ・地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が縮小

来期の残業時間BSIは△23（今期から10ポイント上昇）

図2-(3) 残業時間

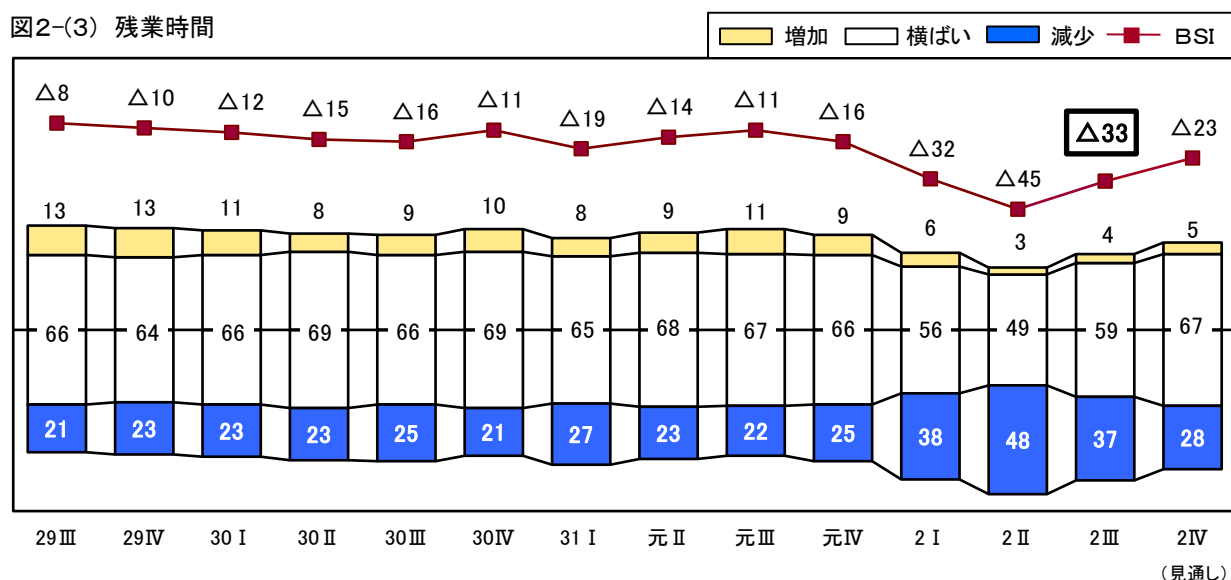


表2-(3) 残業時間(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計	△ 45	4	59	37	△ 33	12	5	67	28	△ 23	10
札幌市を除く	△ 42	4	59	37	△ 33	9	5	66	29	△ 24	9
札幌市	△ 52	3	58	39	△ 36	16	4	71	25	△ 21	15
業 種											
建設業	△ 34	6	71	23	△ 17	17	7	70	23	△ 16	1
製造業	△ 38	6	51	43	△ 37	1	9	66	25	△ 16	21
卸売・小売業	△ 44	0	64	36	△ 36	8	2	73	25	△ 23	13
運輸業	△ 43	3	55	42	△ 39	4	4	63	33	△ 29	10
サービス業	△ 56	4	55	41	△ 37	19	4	63	33	△ 29	8
資 本 金											
5千万円未満	△ 43	4	60	36	△ 32	11	5	67	28	△ 23	9
5千万以上～1億円未満	△ 48	2	58	40	△ 38	10	4	66	30	△ 26	12
1億円以上	△ 48	5	57	38	△ 33	15	5	70	25	△ 20	13
地 域											
道南	△ 51	1	59	40	△ 39	12	3	69	28	△ 25	14
道央	△ 47	3	62	35	△ 32	15	3	71	26	△ 23	9
札幌市を除く	△ 43	4	65	31	△ 27	16	2	71	27	△ 25	2
札幌市	△ 52	3	58	39	△ 36	16	4	71	25	△ 21	15
道北	△ 43	6	52	42	△ 36	7	12	56	32	△ 20	16
オホーツク	△ 41	5	59	36	△ 31	10	6	57	37	△ 31	0
十勝	△ 38	3	60	37	△ 34	4	6	70	24	△ 18	16
釧路・根室	△ 37	5	56	39	△ 34	3	5	67	28	△ 23	11

(4) 1人当たり賃金

今期の1人当たり賃金BSIは5（前期から4ポイント上昇）

- ・業種別にみると、卸売・小売業でプラス幅が拡大、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業で横ばい、製造業でプラス幅が縮小
- ・地域別に見ると、十勝でプラス幅が拡大、道南、道央でプラスに転換、道北、オホーツクでプラス幅が縮小、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の1人当たり賃金BSIは1（今期から4ポイント下降）

図2-(4) 1人当たり賃金

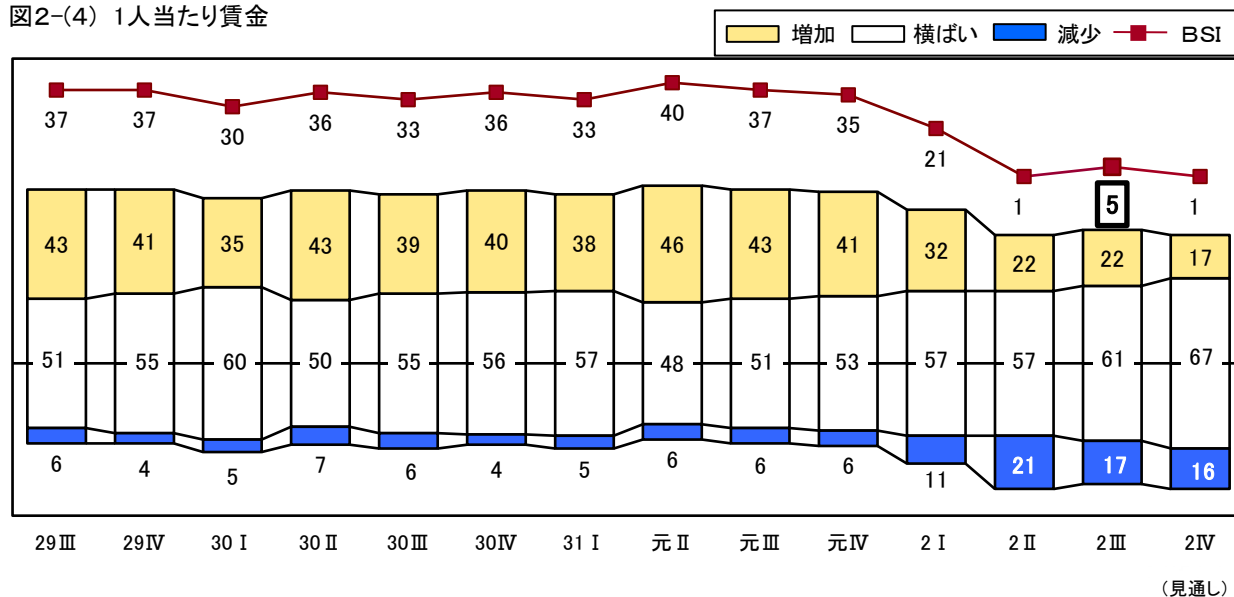


表2-(4) 1人当たり賃金（業種・資本金・地域別）

区 分	R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計	1	22	61	17	5	4	17	67	16	1	△ 4
札幌市を除く	2	22	61	17	5	3	18	66	16	2	△ 3
札幌市	1	23	57	20	3	2	13	70	17	△ 4	△ 7
業 種											
建設業	34	40	54	6	34	0	32	60	8	24	△ 10
製造業	7	20	64	16	4	△ 3	19	66	15	4	0
卸売・小売業	12	23	67	10	13	1	14	78	8	6	△ 7
運輸業	△ 15	19	52	29	△ 10	5	16	56	28	△ 12	△ 2
サービス業	△ 17	15	62	23	△ 8	9	10	69	21	△ 11	△ 3
資 本 金											
5千万円未満	△ 2	20	61	19	1	3	15	67	18	△ 3	△ 4
5千万以上～1億円未満	6	28	55	17	11	5	23	60	17	6	△ 5
1億円以上	11	21	69	10	11	0	15	77	8	7	△ 4
地 域											
道南	△ 2	23	61	16	7	9	17	68	15	2	△ 5
道央	△ 3	21	61	18	3	6	13	71	16	△ 3	△ 6
札幌市を除く	△ 6	19	64	17	2	8	12	73	15	△ 3	△ 5
札幌市	1	23	57	20	3	2	13	70	17	△ 4	△ 7
道北	6	23	58	19	4	△ 2	22	61	17	5	1
オホーツク	15	25	64	11	14	△ 1	21	62	17	4	△ 10
十勝	3	24	61	15	9	6	16	68	16	0	△ 9
釧路・根室	△ 1	20	58	22	△ 2	△ 1	22	61	17	5	7

3 在庫、価格水準

(1) 製造業

今期の実績

- ・ 製品在庫水準は、前期と比べ、「不足」が拡大、「横ばい」「過大」が縮小
- ・ 仕入価格は、前期と比べ、「横ばい」が拡大、「上昇」「下降」が縮小
- ・ 製品価格は、前期と比べ、「横ばい」が拡大、「上昇」「下降」が縮小

来期の見通し

- ・ 製品在庫水準は、「横ばい」が拡大、「不足」「過大」が縮小、
- ・ 仕入価格は、「上昇」「横ばい」が拡大、「下降」が縮小
- ・ 製品価格は、「上昇」「横ばい」が拡大、「下降」が縮小

図3－(1) 製品在庫水準

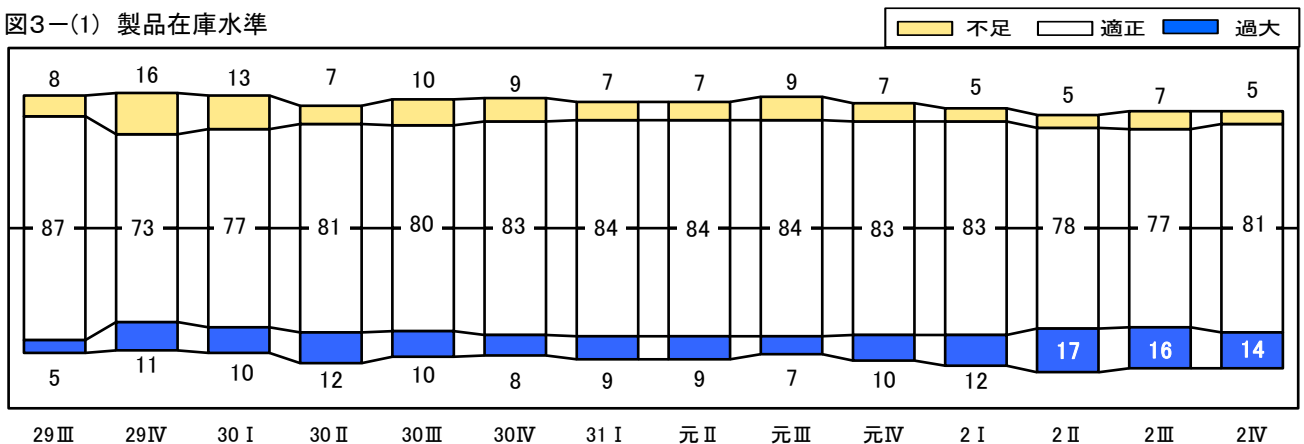


図3－(2) 仕入価格（原材料）

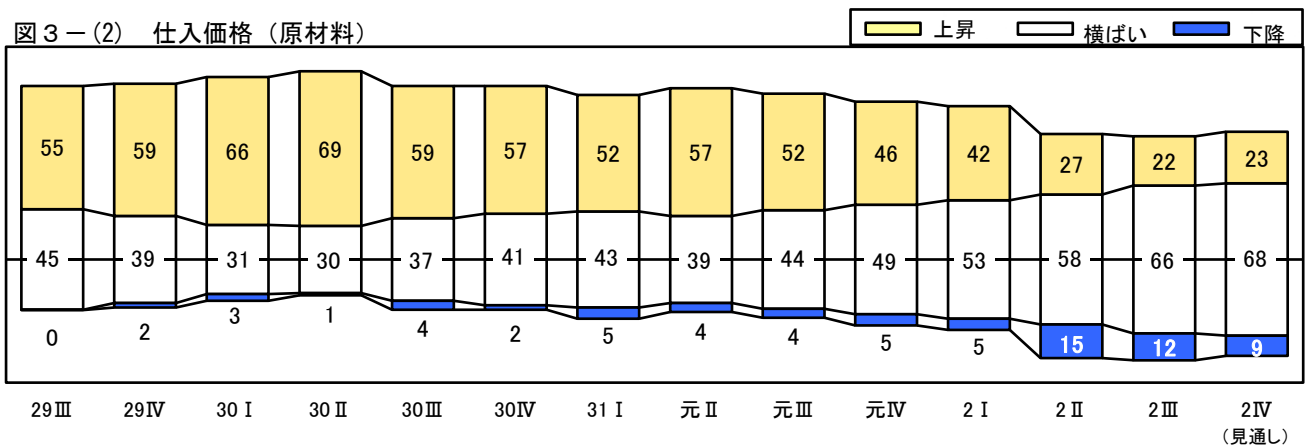
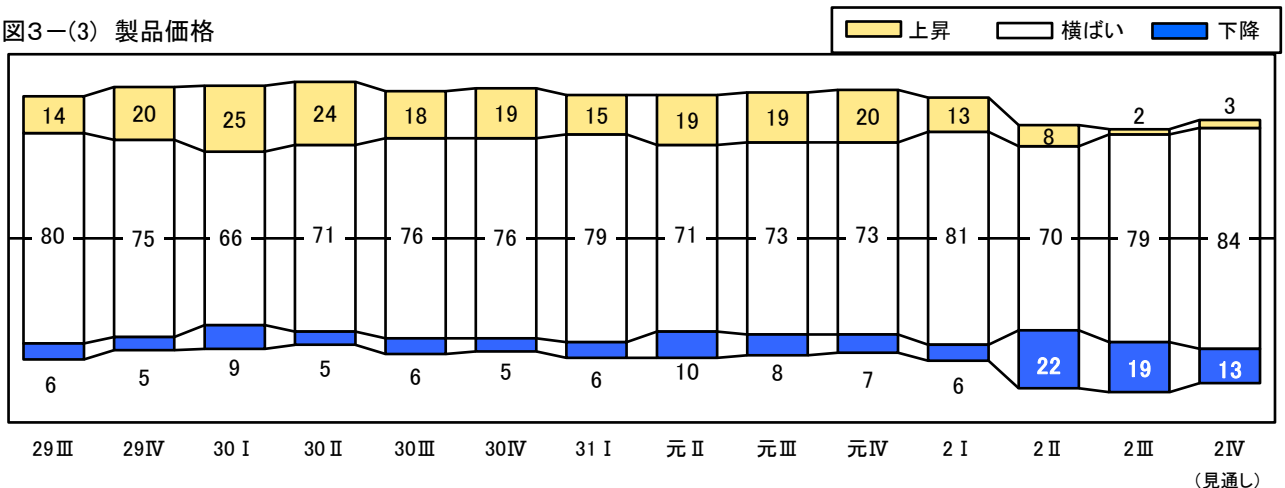


図3－(3) 製品価格



(2) 卸売・小売業

今期の実績

- ・商品在庫水準は、前期と比べ、「不足」「横ばい」が拡大、「過大」が縮小
- ・仕入価格は、前期と比べ、「横ばい」が拡大、「上昇」「下降」が縮小
- ・商品価格は、前期と比べ、「上昇」「横ばい」が拡大、「下降」が縮小

来期の見通し

- ・商品在庫水準は、「横ばい」が拡大、「不足」「過大」が縮小
- ・仕入価格は、「上昇」「横ばい」が拡大、「下降」が縮小
- ・商品価格は、「上昇」「下降」が拡大、「横ばい」が縮小

図3-(4) 商品在庫水準

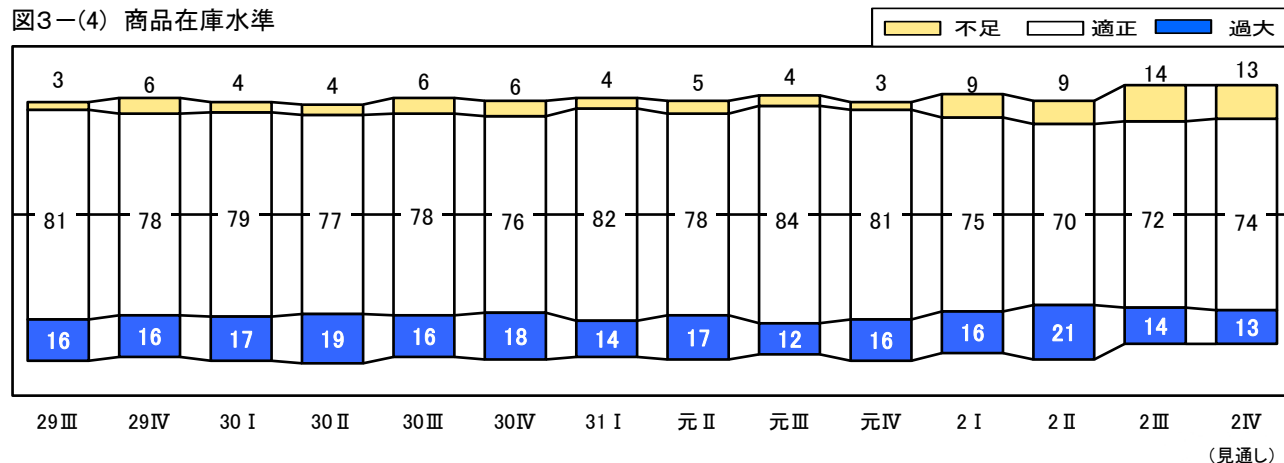


図3-(5) 仕入価格(商品)

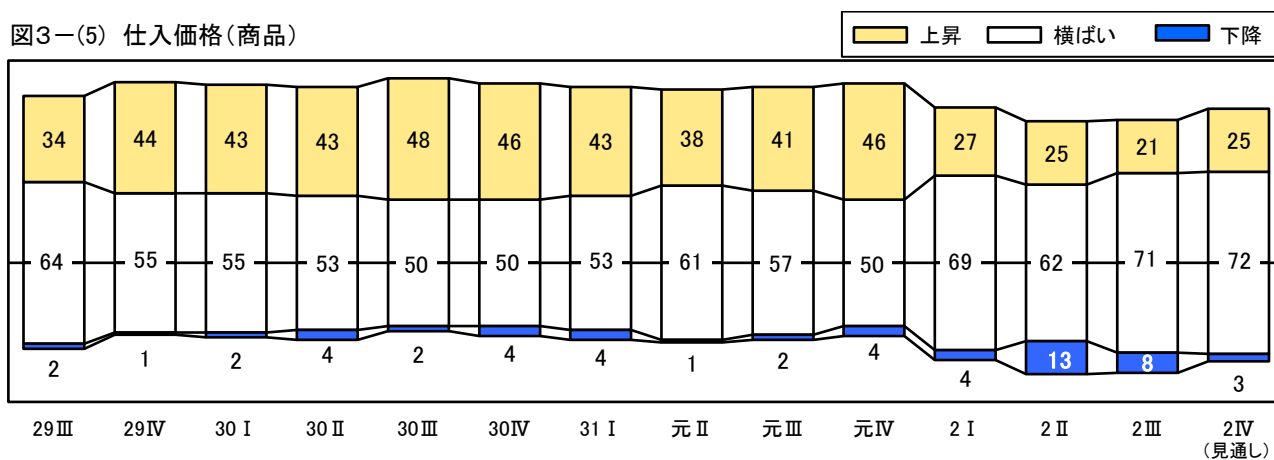
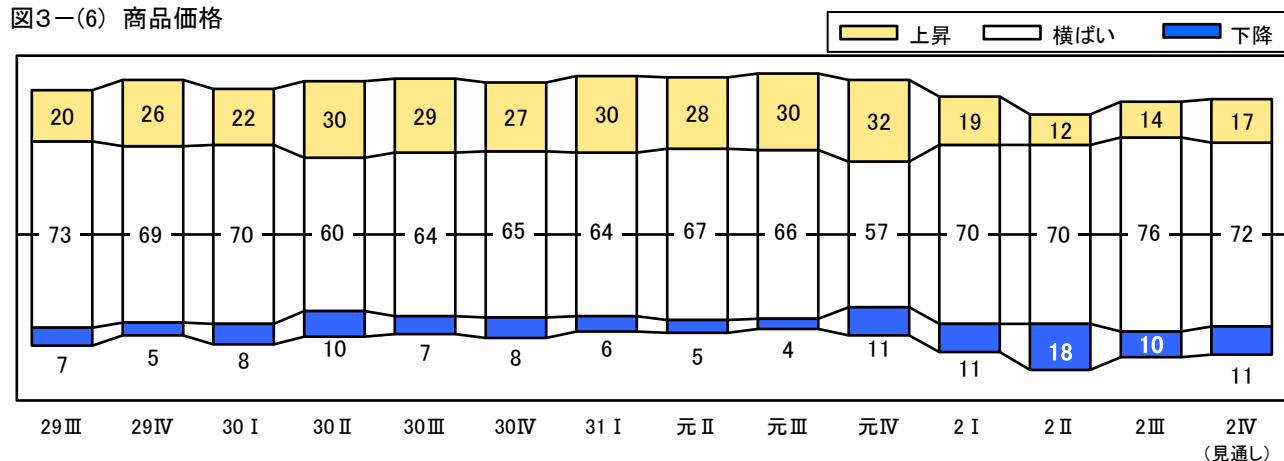


図3-(6) 商品価格



4 設備投資の状況

今期の実績

- ・「設備投資をした」と回答した企業は27%で、前期から横ばい
- ・設備投資の目的については、「設備更新」が76%、「生産・販売能力拡大」が21%、「合理化・省力化」が21%（複数回答）

来期の見通し

- ・「設備投資をする」と回答した企業は27%で、今期から横ばい
- ・設備投資の目的については、「設備更新」が71%、「生産・販売能力拡大」が23%、「合理化・省力化」が20%（複数回答）

図4－(1) 設備投資の状況

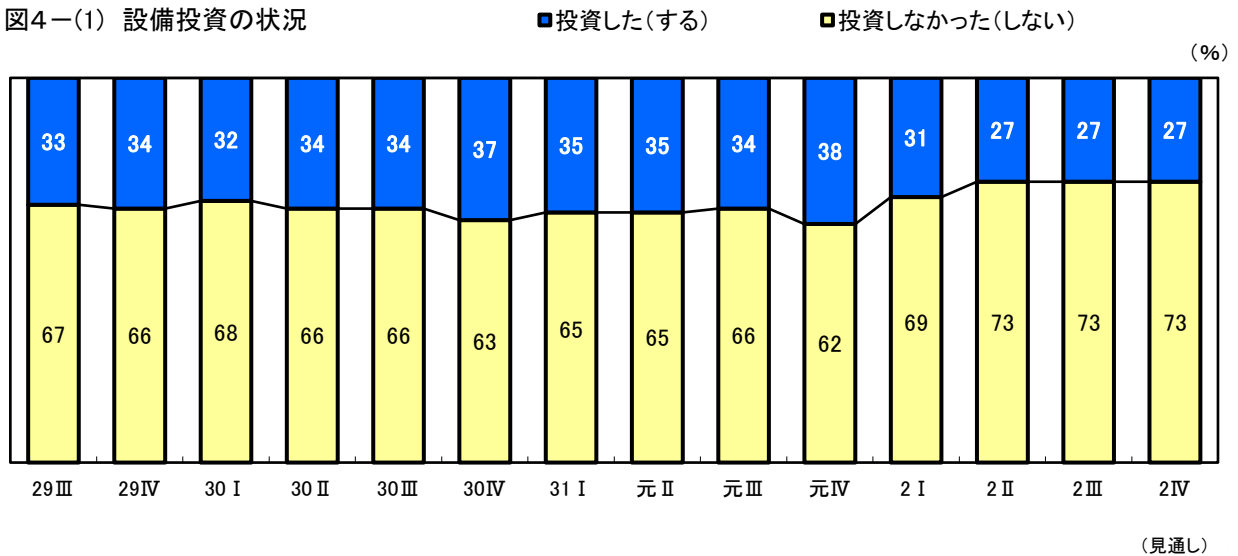


図4－(2) 設備投資の目的(複数回答)

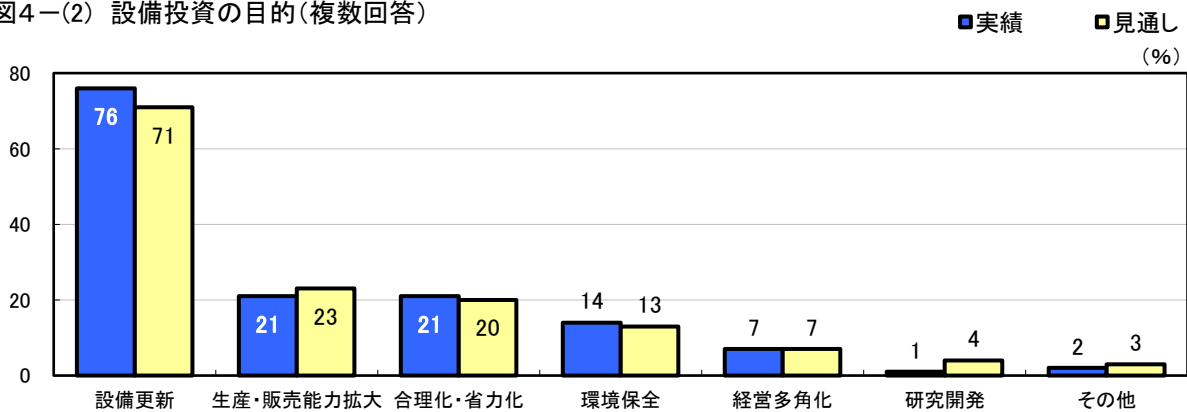


表4-（1）設備投資の状況（R2年7-9実績）（業種・資本金・地域別）

（％）

区 分	R2年 4-6月 設備投資した	R2年 7-9月 設備投資した	設 備 投 資 の 目 的（複 数 回 答）						
			設備 更新	生産・ 販売能力 拡大	合理化 省力化	環境 保全	経 営 多角化	研究 開発	その他
総 計	27	27	76	21	21	14	7	1	2
札幌市を除く	23	23	77	23	22	17	9	2	0
札幌市	41	42	75	18	18	9	2	0	5
建設業	25	22	77	23	27	0	9	0	5
製造業	27	32	74	29	37	11	6	6	0
卸売・小売業	27	26	66	22	9	38	13	0	0
運輸業	33	32	94	13	6	3	0	0	3
サービス業	25	26	74	21	23	15	8	0	2
5千万円未満	22	21	73	23	21	19	6	1	1
5千万以上～1億円未満	28	27	73	21	30	6	12	0	3
1億円以上	49	54	84	18	14	12	6	2	2
道南	15	17	62	8	38	23	0	0	0
道央	34	34	79	25	18	12	4	1	3
札幌市を除く	27	26	86	37	17	17	9	3	0
札幌市	41	42	75	18	18	9	2	0	5
道北	21	24	95	5	14	9	5	0	0
オホーツク	26	25	50	44	19	25	25	0	0
十勝	26	26	56	22	39	28	17	6	0
釧路・根室	24	20	100	8	15	0	0	0	0

表4-（2）設備投資の状況（R2年10-12月見通し）（業種・資本金・地域別）

（％）

区 分	R2年10-12月 設備投資する	設 備 投 資 の 目 的（複 数 回 答）						
		設備 更新	生産・ 販売能力 拡大	合理化 省力化	環境 保全	経 営 多角化	研究 開発	その他
総 計	27	71	23	20	13	7	4	3
札幌市を除く	24	68	22	18	15	9	3	3
札幌市	34	78	24	24	7	0	7	2
建設業	23	74	17	17	9	0	4	0
製造業	34	61	25	36	3	11	11	0
卸売・小売業	25	71	16	6	32	6	0	10
運輸業	37	85	21	15	9	3	0	3
サービス業	22	65	30	21	12	9	5	2
5千万円未満	22	65	27	22	13	9	3	3
5千万以上～1億円未満	25	73	13	13	7	3	7	3
1億円以上	52	79	21	19	15	4	4	2
道南	21	63	13	6	13	19	6	19
道央	30	75	25	21	9	4	5	1
札幌市を除く	27	72	25	17	11	8	3	0
札幌市	34	78	24	24	7	0	7	2
道北	30	65	19	15	15	8	0	0
オホーツク	24	47	40	33	13	20	7	0
十勝	24	69	25	31	25	0	6	0
釧路・根室	21	92	8	8	15	0	0	8

5 地域別にみる各産業の動向

(1) 道南

今期の業況感BSIは △ 40 (前期から 16 ポイント上昇)

主な上昇業種・・・総合工事業 (0→25)、木材・木製品製造業 (▲50→0)、通信業 (▲100→0)

窯業・土石製品製造業 (▲100→50)、道路貨物運送業 (▲20→0)

織物・衣類・身の回り品小売業 (▲100→▲50)、自動車整備業 (▲100→▲33)

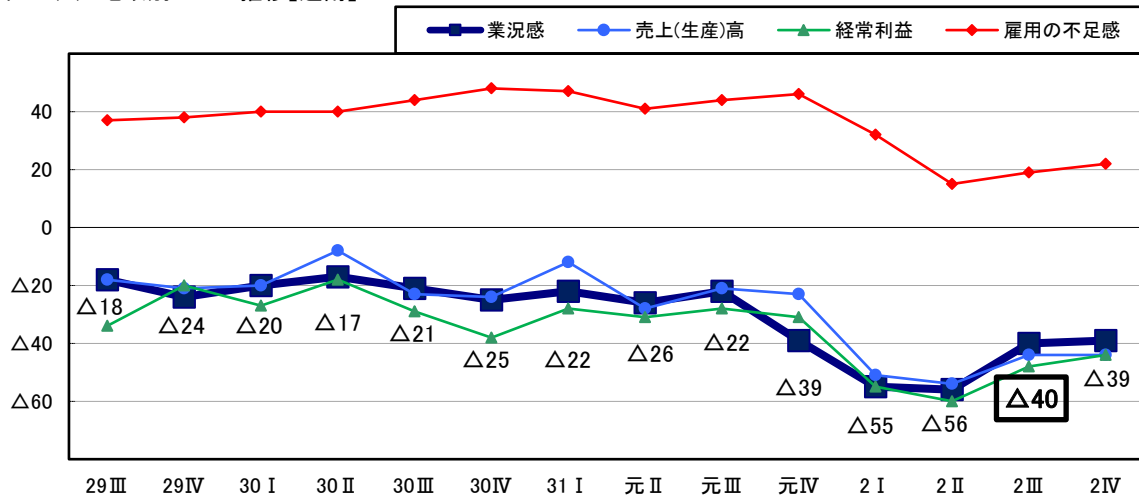
情報サービス業 (▲33→0)、宿泊業 (▲100→▲66)、廃棄物処理業 (▲100→0)

主な下降業種・・・食料品製造業 (▲60→▲75)、電子部品・デバイス・電子回路製造業 (0→▲100)

機械器具小売業 (▲50→▲67)、倉庫業 (▲33→▲50)

来期の業況感BSIは △ 39 (今期から 1 ポイント上昇)

図5- (1) 地域別BSIの推移【道南】



(見通し)

表5- (1) 地域別BSI【道南】

区 分		R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 56	9	42	49	△ 40	16	4	53	43	△ 39	1
	建設業	0	33	59	8	25	25	0	75	25	△ 25	△ 50
	製造業	△ 47	9	55	36	△ 27	20	0	73	27	△ 27	0
	卸売・小売業	△ 81	0	26	74	△ 74	7	16	37	47	△ 31	43
	運輸業	△ 54	8	34	58	△ 50	4	0	55	45	△ 45	5
	サービス業	△ 80	5	45	50	△ 45	35	0	45	55	△ 55	△ 10
売上 (生産)高	全産業	△ 54	11	34	55	△ 44	10	3	50	47	△ 44	0
	建設業	0	33	59	8	25	25	8	67	25	△ 17	△ 42
	製造業	△ 45	18	27	55	△ 37	8	0	80	20	△ 20	17
	卸売・小売業	△ 81	0	26	74	△ 74	7	5	42	53	△ 48	26
	運輸業	△ 46	8	34	58	△ 50	△ 4	0	50	50	△ 50	0
	サービス業	△ 80	5	31	64	△ 59	21	0	36	64	△ 64	△ 5
経常利益	全産業	△ 60	9	34	57	△ 48	12	5	46	49	△ 44	4
	建設業	△ 26	17	66	17	0	26	0	58	42	△ 42	△ 42
	製造業	△ 50	18	18	64	△ 46	4	9	73	18	△ 9	37
	卸売・小売業	△ 75	5	27	68	△ 63	12	11	36	53	△ 42	21
	運輸業	△ 62	8	34	58	△ 50	12	0	50	50	△ 50	0
	サービス業	△ 76	5	31	64	△ 59	17	5	31	64	△ 59	0
雇用者の 不足感	全産業	15	27	65	8	19	4	27	68	5	22	3
	建設業	67	67	33	0	67	0	75	25	0	75	8
	製造業	33	36	46	18	18	△ 15	36	64	0	36	18
	卸売・小売業	△ 6	21	74	5	16	22	21	74	5	16	0
	運輸業	15	17	75	8	9	△ 6	17	75	8	9	0
	サービス業	△ 17	10	80	10	0	17	5	85	10	△ 5	△ 5

※「売上(生産)高」及び「経常利益」については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と、「雇用者の不足感」については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替え。(以下、同じ。)

(2) 道央

今期の業況感BSIは △ 47 (前期から3ポイント上昇)

主な上昇業種…塗装工事業等の職別工事業 (▲100→▲50)、鉄鋼業 (▲100→0)
 パルプ・紙・紙加工品製造業 (▲100→▲33)、
 輸送用機械器具製造業 (0→50) 航空運輸業 (▲100→0)
 その他の卸売業 (▲71→▲29)、技術サービス業 (▲60→▲18)

主な下降業種…総合工事業 (▲4→▲19)、飲料・たばこ・飼料製造業 (0→▲100)
 木材・木製品製造業 (0→▲100)、プラスチック製品製造業 (0→▲50)
 汎用機械器具製造業 (50→0)、
 百貨店、総合スーパー等の各種商品小売業 (▲34→▲100)、倉庫業 (20→▲22)

来期の業況感BSIは △ 47 (今期から横ばい)

図5-(2) 地域別BSIの推移【道央】

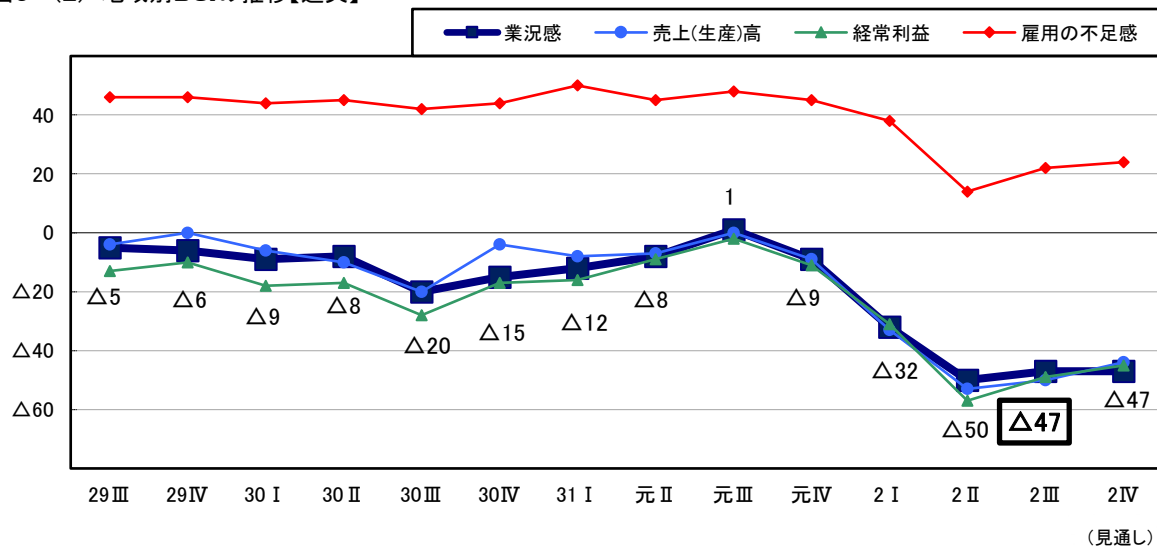


表5-(2) 地域別BSI【道央】

区 分		R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 50	4	45	51	△ 47	3	2	49	49	△ 47	0
	建設業	△ 15	0	74	26	△ 26	△ 11	3	71	26	△ 23	3
	製造業	△ 43	9	42	49	△ 40	3	2	47	51	△ 49	△ 9
	卸売・小売業	△ 61	6	34	60	△ 54	7	0	42	58	△ 58	△ 4
	運輸業	△ 46	3	42	55	△ 52	△ 6	3	41	56	△ 53	△ 1
	サービス業	△ 63	2	43	55	△ 53	10	3	47	50	△ 47	6
売上 (生産)高	全産業	△ 53	7	36	57	△ 50	3	4	48	48	△ 44	6
	建設業	△ 18	3	68	29	△ 26	△ 8	3	65	32	△ 29	△ 3
	製造業	△ 50	13	31	56	△ 43	7	2	54	44	△ 42	1
	卸売・小売業	△ 63	8	20	72	△ 64	△ 1	4	38	58	△ 54	10
	運輸業	△ 49	6	39	55	△ 49	0	3	45	52	△ 49	0
	サービス業	△ 63	5	36	59	△ 54	9	5	46	49	△ 44	10
経常利益	全産業	△ 57	6	39	55	△ 49	8	3	49	48	△ 45	4
	建設業	△ 42	3	62	35	△ 32	10	0	65	35	△ 35	△ 3
	製造業	△ 50	11	38	51	△ 40	10	7	49	44	△ 37	3
	卸売・小売業	△ 62	6	34	60	△ 54	8	0	47	53	△ 53	1
	運輸業	△ 52	6	39	55	△ 49	3	3	42	55	△ 52	△ 3
	サービス業	△ 66	5	35	60	△ 55	11	3	49	48	△ 45	10
雇用者の 不足感	全産業	14	32	58	10	22	8	32	60	8	24	2
	建設業	58	59	41	0	59	1	65	35	0	65	6
	製造業	16	22	71	7	15	△ 1	20	71	9	11	△ 4
	卸売・小売業	7	28	59	13	15	8	25	67	8	17	2
	運輸業	34	42	55	3	39	5	44	56	0	44	5
	サービス業	△ 4	27	57	16	11	15	26	59	15	11	0

(2) - ① 道央（札幌市を除く）

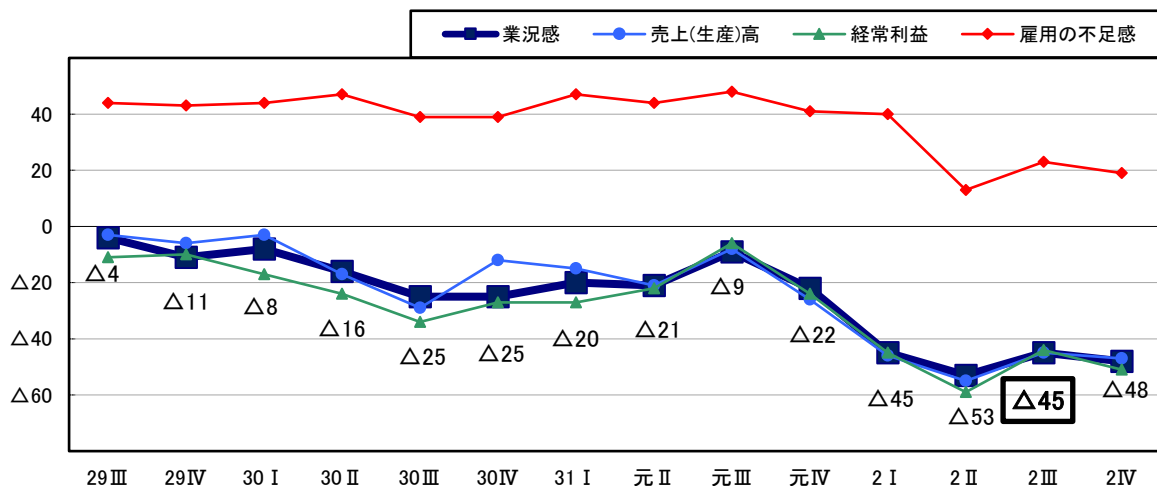
今期の業況感BSIは △ 45（前期から8ポイント上昇）

主な上昇業種・・・職別工事業（▲100→▲50）、パルプ・紙・紙加工品製造業（▲100→0）、
鉄鋼業（▲100→0）、輸送用機械器具製造業（0→50）、
機械器具卸売業（▲100→0）、技術サービス業（▲50→0）

主な下降業種・・・設備工事業（▲50→▲100）、飲料・たばこ・飼料製造業（0→▲100）
木材・木製品製造業（0→▲100）、汎用機械器具製造業（100→0）
倉庫業（50→0）、廃棄物処理業（50→0）

来期の業況感BSIは △ 48（今期から3ポイント下降）

図5-(2)-① 地域別BSIの推移【道央(札幌市を除く)】



(見通し)

表5-(2)-① 地域別BSI【道央(札幌市を除く)】

区 分		R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 53	4	47	49	△ 45	8	2	48	50	△ 48	△ 3
	建設業	△ 14	0	62	38	△ 38	△ 24	6	63	31	△ 25	13
	製造業	△ 34	11	50	39	△ 28	6	4	42	54	△ 50	△ 22
	卸売・小売業	△ 88	4	26	70	△ 66	22	0	35	65	△ 65	1
	運輸業	△ 43	0	65	35	△ 35	8	0	62	38	△ 38	△ 3
	サービス業	△ 60	2	43	55	△ 53	7	2	47	51	△ 49	4
売上 (生産)高	全産業	△ 55	8	39	53	△ 45	10	3	47	50	△ 47	△ 2
	建設業	△ 20	6	63	31	△ 25	△ 5	6	44	50	△ 44	△ 19
	製造業	△ 39	14	36	50	△ 36	3	4	53	43	△ 39	△ 3
	卸売・小売業	△ 88	8	13	79	△ 71	17	4	33	63	△ 59	12
	運輸業	△ 44	6	59	35	△ 29	15	0	59	41	△ 41	△ 12
	サービス業	△ 64	4	40	56	△ 52	12	2	46	52	△ 50	2
経常利益	全産業	△ 59	7	42	51	△ 44	15	1	47	52	△ 51	△ 7
	建設業	△ 53	6	56	38	△ 32	21	0	50	50	△ 50	△ 18
	製造業	△ 39	14	40	46	△ 32	7	4	50	46	△ 42	△ 10
	卸売・小売業	△ 80	4	29	67	△ 63	17	0	46	54	△ 54	9
	運輸業	△ 44	6	59	35	△ 29	15	0	53	47	△ 47	△ 18
	サービス業	△ 69	4	40	56	△ 52	17	0	43	57	△ 57	△ 5
雇用者の 不足感	全産業	13	31	61	8	23	10	26	67	7	19	△ 4
	建設業	60	63	37	0	63	3	69	31	0	69	6
	製造業	21	21	72	7	14	△ 7	14	75	11	3	△ 11
	卸売・小売業	△ 16	24	64	12	12	28	17	79	4	13	1
	運輸業	44	35	65	0	35	△ 9	31	69	0	31	△ 4
	サービス業	△ 5	27	62	11	16	21	21	67	12	9	△ 7

(2) - ② 道央（札幌市）

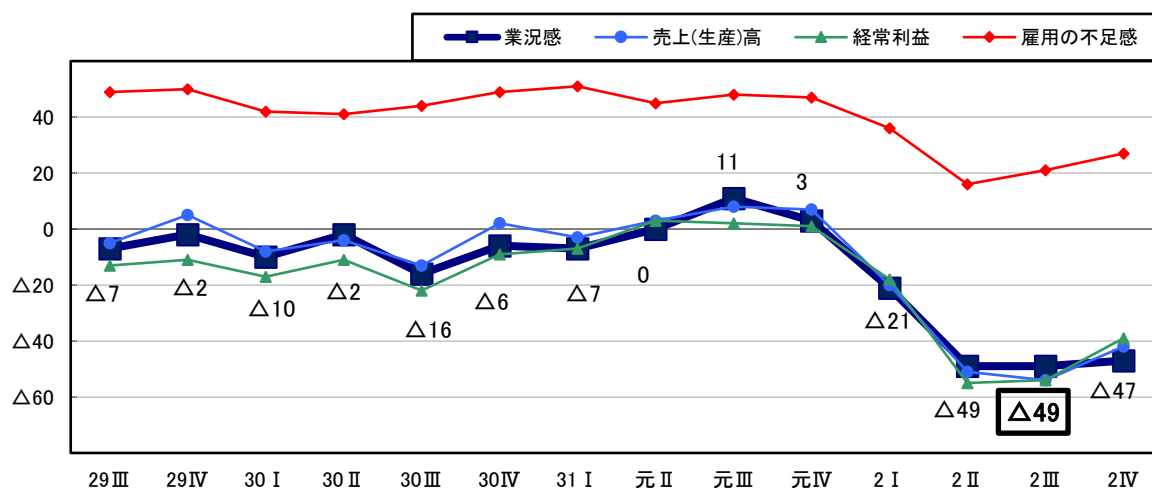
今期の業況感BSIは △49（前期から横ばい）

主な上昇業種・・・パルプ・紙・紙加工品製造業（▲100→▲50）、繊維・衣類等卸売業（▲100→67）
家具・建具・じゅう器等卸売業のその他の卸売業（▲60→0）
航空運輸業（▲100→0）、物品賃貸業（▲80→▲25）、廃棄物処理業（▲100→▲50）
技術サービス業（▲63→▲25）、自動車整備業（▲100→▲50）

主な下降業種・・・建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（▲40→▲75）、各種商品小売業（0→▲100）
その他の小売業（0→▲100）、倉庫業（0→▲50）、機械等修理業（▲50→▲100）

来期の業況感BSIは △47（今期から2ポイント上昇）

図5-(2)-② 地域別BSIの推移【道央（札幌市）】



(見通し)

表5-(2)-② 地域別BSI【道央（札幌市）】

区 分		R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 49	4	43	53	△ 49	0	2	49	49	△ 47	2
	建設業	△ 17	0	83	17	△ 17	0	0	78	22	△ 22	△ 5
	製造業	△ 57	6	29	65	△ 59	△ 2	0	53	47	△ 47	12
	卸売・小売業	△ 40	7	41	52	△ 45	△ 5	0	48	52	△ 52	△ 7
	運輸業	△ 47	6	19	75	△ 69	△ 22	6	19	75	△ 69	0
	サービス業	△ 64	2	42	56	△ 54	10	4	47	49	△ 45	9
売上 (生産)高	全産業	△ 51	6	34	60	△ 54	△ 3	4	50	46	△ 42	12
	建設業	△ 16	0	72	28	△ 28	△ 12	0	83	17	△ 17	11
	製造業	△ 69	12	23	65	△ 53	16	0	53	47	△ 47	6
	卸売・小売業	△ 43	7	27	66	△ 59	△ 16	3	42	55	△ 52	7
	運輸業	△ 52	6	19	75	△ 69	△ 17	6	31	63	△ 57	12
	サービス業	△ 62	5	32	63	△ 58	4	7	47	46	△ 39	19
経常利益	全産業	△ 55	5	36	59	△ 54	1	4	53	43	△ 39	15
	建設業	△ 33	0	67	33	△ 33	0	0	78	22	△ 22	11
	製造業	△ 69	6	35	59	△ 53	16	12	47	41	△ 29	24
	卸売・小売業	△ 47	7	38	55	△ 48	△ 1	0	48	52	△ 52	△ 4
	運輸業	△ 57	6	19	75	△ 69	△ 12	6	31	63	△ 57	12
	サービス業	△ 62	5	31	64	△ 59	3	5	54	41	△ 36	23
雇用者の 不足感	全産業	16	34	53	13	21	5	37	53	10	27	6
	建設業	56	56	44	0	56	0	61	39	0	61	5
	製造業	6	24	70	6	18	12	29	65	6	23	5
	卸売・小売業	25	31	55	14	17	△ 8	31	59	10	21	4
	運輸業	26	50	44	6	44	18	56	44	0	56	12
	サービス業	△ 4	27	53	20	7	11	30	53	17	13	6

(3) 道北

今期の業況感BSIは △ 45 (前期から 10 ポイント上昇)

主な上昇業種・・・窯業・土石製品製造業 (▲33→0)、金属製品製造業 (▲67→▲33)
 繊維・衣類等卸売業 (▲100→0)、飲食料品卸売業 (▲100→▲50)
 家具・建具・畳小売業等のその他の小売業 (▲100→100)、宿泊業 (▲100→▲57)
 洗濯・理容・美容・浴場業 (▲67→0)
 主な下降業種・・・木材・木製品製造業 (▲50→▲100)、汎用機械器具製造業 (0→▲100)
 娯楽業 (▲50→▲100)、自動車整備業 (▲33→▲67)

来期の業況感BSIは △ 42 (今期から 3 ポイント上昇)

図5-(3) 地域別BSIの推移【道北】

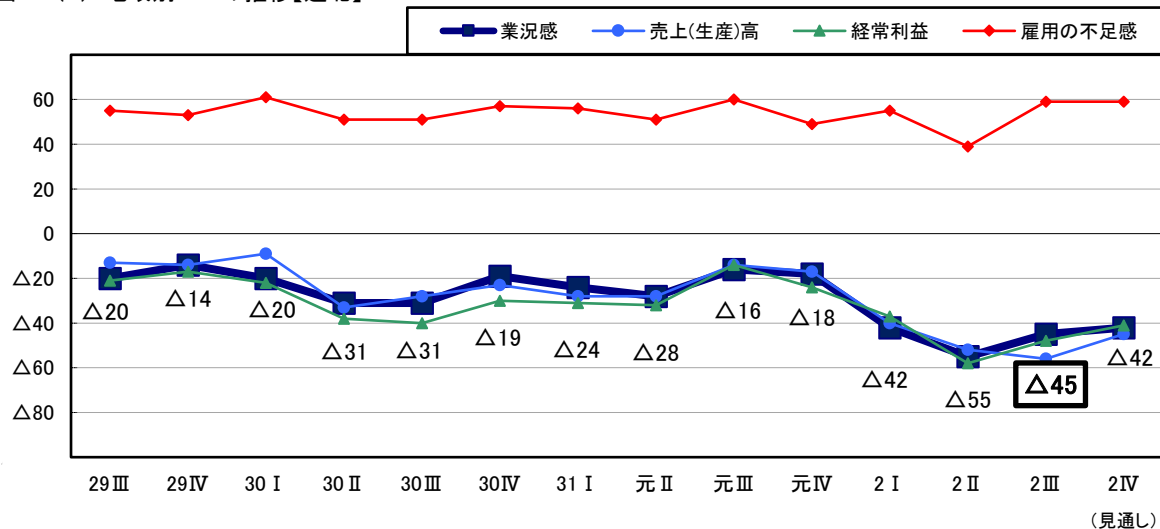


表5-(5) 地域別BSI(道北)

区 分		R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 55	6	43	51	△ 45	10	3	52	45	△ 42	3
	建設業	△ 23	6	70	24	△ 18	5	6	65	29	△ 23	△ 5
	製造業	△ 53	6	38	56	△ 50	3	6	63	31	△ 25	25
	卸売・小売業	△ 73	8	38	54	△ 46	27	0	62	38	△ 38	8
	運輸業	△ 62	0	40	60	△ 60	2	0	47	53	△ 53	7
	サービス業	△ 64	7	34	59	△ 52	12	4	32	64	△ 60	△ 8
売上 (生産) 高	全産業	△ 52	2	40	58	△ 56	△ 4	5	45	50	△ 45	11
	建設業	△ 17	6	59	35	△ 29	△ 12	12	47	41	△ 29	0
	製造業	△ 60	6	38	56	△ 50	10	6	50	44	△ 38	12
	卸売・小売業	△ 64	0	46	54	△ 54	10	0	62	38	△ 38	16
	運輸業	△ 54	0	31	69	△ 69	△ 15	6	38	56	△ 50	19
	サービス業	△ 64	0	30	70	△ 70	△ 6	0	38	62	△ 62	8
経常利益	全産業	△ 58	8	36	56	△ 48	10	8	43	49	△ 41	7
	建設業	△ 27	12	47	41	△ 29	△ 2	12	41	47	△ 35	△ 6
	製造業	△ 73	6	25	69	△ 63	10	6	56	38	△ 32	31
	卸売・小売業	△ 73	8	69	23	△ 15	58	0	69	31	△ 31	△ 16
	運輸業	△ 62	0	31	69	△ 69	△ 7	6	31	63	△ 57	12
	サービス業	△ 61	13	20	67	△ 54	7	13	29	58	△ 45	9
雇用者の 不足感	全産業	39	61	37	2	59	20	62	35	3	59	0
	建設業	67	82	18	0	82	15	71	29	0	71	△ 11
	製造業	54	56	38	6	50	△ 4	63	24	13	50	0
	卸売・小売業	18	33	67	0	33	15	42	58	0	42	9
	運輸業	16	63	37	0	63	47	73	27	0	73	10
	サービス業	33	63	33	4	59	26	58	38	4	54	△ 5

(4) オホーツク

今期の業況感BSIは △ 53 (前期から5ポイント下降)

主な上昇業種…食料品製造業 (▲67→0)、輸送用機械器具製造業 (0→100)

その他の製造業 (▲100→▲50)、情報サービス業 (▲100→▲50)

洗濯・理容・美容・浴場業 (▲100→▲50)

主な下降業種…窯業・土石製品製造業 (▲50→▲100)、自動車整備業 (▲67→▲100)

建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 (0→▲33)、機械器具卸売業 (0→▲100)

自動車小売業等の機械器具小売業 (▲40→▲80)、道路貨物運送業 (0→▲67)

じゅう器小売業等のその他の小売業 (▲50→▲100)、

来期の業況感BSIは △ 49 (今期から4ポイント上昇)

図5-(4) 地域別BSIの推移【オホーツク】

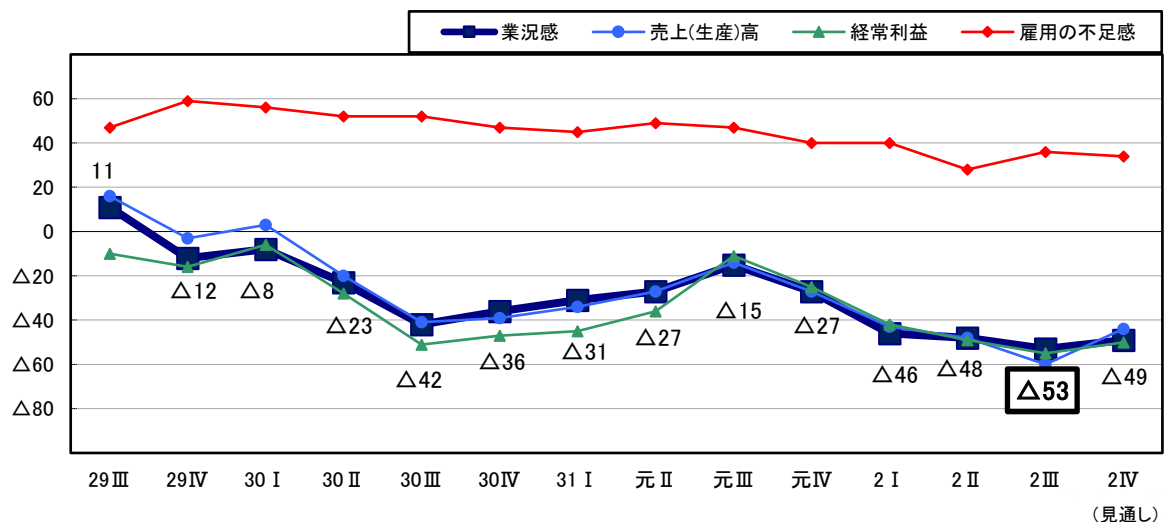


表5-(6) 地域別BSI(オホーツク)

区 分		R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 48	3	41	56	△ 53	△ 5	5	41	54	△ 49	4
	建設業	△ 15	8	84	8	0	15	0	83	17	△ 17	△ 17
	製造業	△ 50	8	54	38	△ 30	20	0	55	45	△ 45	△ 15
	卸売・小売業	△ 43	0	23	77	△ 77	△ 34	8	38	54	△ 46	31
	運輸業	△ 46	0	12	88	△ 88	△ 42	11	11	78	△ 67	21
	サービス業	△ 74	0	28	72	△ 72	2	6	22	72	△ 66	6
売上 (生産)高	全産業	△ 48	5	30	65	△ 60	△ 12	8	40	52	△ 44	16
	建設業	△ 30	17	50	33	△ 16	14	17	58	25	△ 8	8
	製造業	△ 50	8	38	54	△ 46	4	0	50	50	△ 50	△ 4
	卸売・小売業	△ 29	0	23	77	△ 77	△ 48	15	47	38	△ 23	54
	運輸業	△ 54	0	22	78	△ 78	△ 24	11	22	67	△ 56	22
	サービス業	△ 69	0	22	78	△ 78	△ 9	0	28	72	△ 72	6
経常利益	全産業	△ 49	8	29	63	△ 55	△ 6	6	38	56	△ 50	5
	建設業	△ 30	17	50	33	△ 16	14	0	58	42	△ 42	△ 26
	製造業	△ 64	8	25	67	△ 59	5	8	42	50	△ 42	17
	卸売・小売業	△ 43	8	23	69	△ 61	△ 18	15	39	46	△ 31	30
	運輸業	△ 46	0	22	78	△ 78	△ 32	11	22	67	△ 56	22
	サービス業	△ 57	6	27	67	△ 61	△ 4	0	28	72	△ 72	△ 11
雇用者の 不足感	全産業	28	44	48	8	36	8	40	54	6	34	△ 2
	建設業	62	50	50	0	50	△ 12	42	58	0	42	△ 8
	製造業	7	50	50	0	50	43	45	55	0	45	△ 5
	卸売・小売業	22	23	69	8	15	△ 7	23	77	0	23	8
	運輸業	16	56	44	0	56	40	56	44	0	56	0
	サービス業	33	47	29	24	23	△ 10	41	35	24	17	△ 6

(5) 十勝

今期の業況感BSIは △ 42 (前期から 20 ポイント上昇)

主な上昇業種…総合工事業 (▲46→▲15)、設備工事業 (▲100→0)、食料品製造業 (▲100→▲34)
生産用機械器具製造業 (▲67→▲33)、機械器具小売業 (▲100→▲75)
運輸に付属するサービス業 (▲100→0)、情報サービス業 (▲50→0)
物品賃貸業 (▲100→▲50)

主な下降業種…プラスチック製品製造業 (0→▲100)、金属製品製造業 (0→▲50)

来期の業況感BSIは △ 42 (今期から横ばい)

図5-(5) 地域別BSIの推移【十勝】

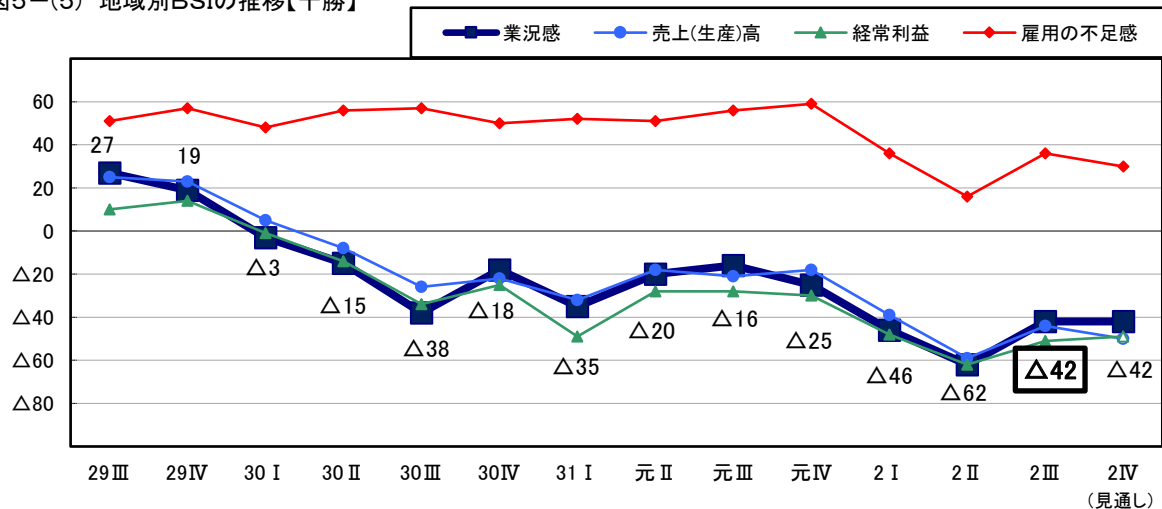


表5-(7) 地域別BSI(十勝)

区 分		R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 62	4	50	46	△ 42	20	5	48	47	△ 42	0
	建設業	△ 50	7	66	27	△ 20	30	8	69	23	△ 15	5
	製造業	△ 71	9	27	64	△ 55	16	0	30	70	△ 70	△ 15
	卸売・小売業	△ 75	0	38	62	△ 62	13	8	50	42	△ 34	28
	運輸業	△ 46	8	50	42	△ 34	12	0	42	58	△ 58	△ 24
	サービス業	△ 63	0	56	44	△ 44	19	7	46	47	△ 40	4
売上 (生産)高	全産業	△ 59	7	42	51	△ 44	15	4	42	54	△ 50	△ 6
	建設業	△ 50	13	47	40	△ 27	23	7	50	43	△ 36	△ 9
	製造業	△ 79	9	27	64	△ 55	24	0	27	73	△ 73	△ 18
	卸売・小売業	△ 69	7	22	71	△ 64	5	7	22	71	△ 64	0
	運輸業	△ 39	8	50	42	△ 34	5	0	50	50	△ 50	△ 16
	サービス業	△ 57	0	56	44	△ 44	13	6	56	38	△ 32	12
経常利益	全産業	△ 62	7	35	58	△ 51	11	6	39	55	△ 49	2
	建設業	△ 50	7	40	53	△ 46	4	7	43	50	△ 43	3
	製造業	△ 86	10	20	70	△ 60	26	0	30	70	△ 70	△ 10
	卸売・小売業	△ 77	0	29	71	△ 71	6	7	36	57	△ 50	21
	運輸業	△ 31	25	25	50	△ 25	6	8	34	58	△ 50	△ 25
	サービス業	△ 63	0	50	50	△ 50	13	6	50	44	△ 38	12
雇用者の 不足感	全産業	16	46	47	7	39	23	38	54	8	30	△ 9
	建設業	8	60	40	0	60	52	57	43	0	57	△ 3
	製造業	21	10	90	0	10	△ 11	10	90	0	10	0
	卸売・小売業	8	50	36	14	36	28	43	43	14	29	△ 7
	運輸業	54	75	17	8	67	13	50	33	17	33	△ 34
	サービス業	△ 6	31	56	13	18	24	25	69	6	19	1

(6) 釧路・根室

今期の業況感BSIは △ 46 (前期から7ポイント上昇)

主な上昇業種・・・総合工事業 (▲33→▲10)、設備工事業 (▲100→0)

飲料・たばこ・飼料製造業 (0→50)、輸送用機械器具製造業 (0→100)

道路貨物運送業 (▲50→▲25)

主な下降業種・・・食料品製造業 (▲25→▲50)、パルプ・紙・紙加工品製造業 (0→▲50)

窯業・土石製品製造業 (0→▲100)、機械器具小売業 (▲33→▲75)

来期の業況感BSIは △ 46 (今期から横ばい)

図5-(6) 地域別BSIの推移【釧路・根室】

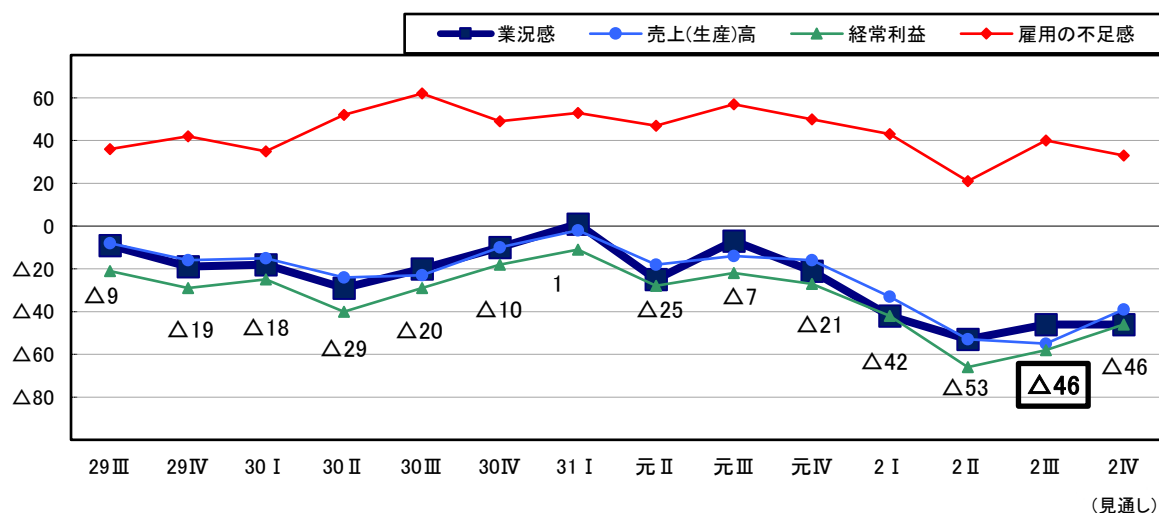


表5-(8) 地域別BSI(釧路・根室)

区 分		R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 53	6	42	52	△ 46	7	3	48	49	△ 46	0
	建設業	△ 40	0	91	9	△ 9	31	0	64	36	△ 36	△ 27
	製造業	△ 33	14	36	50	△ 36	△ 3	7	43	50	△ 43	△ 7
	卸売・小売業	△ 34	8	34	58	△ 50	△ 16	8	42	50	△ 42	8
	運輸業	△ 67	0	38	62	△ 62	5	0	46	54	△ 54	8
	サービス業	△ 75	7	20	73	△ 66	9	0	47	53	△ 53	13
売上 (生産)高	全産業	△ 53	6	33	61	△ 55	△ 2	9	43	48	△ 39	16
	建設業	△ 50	0	73	27	△ 27	23	0	64	36	△ 36	△ 9
	製造業	△ 17	14	29	57	△ 43	△ 26	21	36	43	△ 22	21
	卸売・小売業	△ 42	8	25	67	△ 59	△ 17	8	34	58	△ 50	9
	運輸業	△ 67	0	31	69	△ 69	△ 2	0	38	62	△ 62	7
	サービス業	△ 75	6	19	75	△ 69	6	13	47	40	△ 27	42
経常利益	全産業	△ 66	5	32	63	△ 58	8	5	44	51	△ 46	12
	建設業	△ 50	0	73	27	△ 27	23	0	64	36	△ 36	△ 9
	製造業	△ 75	7	14	79	△ 72	3	0	43	57	△ 57	15
	卸売・小売業	△ 58	8	25	67	△ 59	△ 1	8	34	58	△ 50	9
	運輸業	△ 67	0	38	62	△ 62	5	0	38	62	△ 62	0
	サービス業	△ 75	7	20	73	△ 66	9	13	47	40	△ 27	39
雇用者の 不足感	全産業	21	43	54	3	40	19	38	57	5	33	△ 7
	建設業	20	36	64	0	36	16	27	73	0	27	△ 9
	製造業	33	57	43	0	57	24	57	43	0	57	0
	卸売・小売業	16	33	59	8	25	9	25	67	8	17	△ 8
	運輸業	50	54	46	0	54	4	46	46	8	38	△ 16
	サービス業	0	33	60	7	26	26	33	60	7	26	0

6 道内の景況感

今期の道内の景況感BSIは△48（前期から33ポイント上昇）

- ・業種別にみると、すべての業種でマイナス幅が縮小
- ・地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が縮小

来期の道内の景況感BSIは△47（今期から1ポイント上昇）

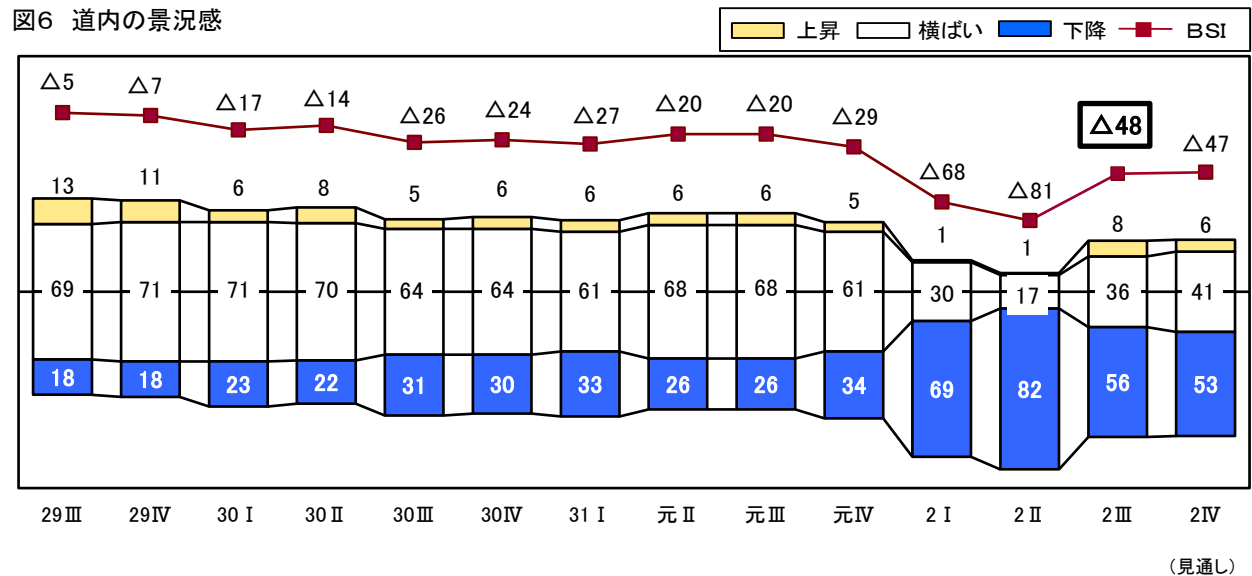


表6 道内の景況感(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 4-6月 実績BSI	R2年7-9月実績					R2年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総 計	△ 81	8	36	56	△ 48	33	6	41	53	△ 47	1
札幌市を除く	△ 81	8	35	57	△ 49	32	6	39	55	△ 49	0
札幌市	△ 79	8	38	54	△ 46	33	7	46	47	△ 40	6
業 種											
建設業	△ 76	4	43	53	△ 49	27	6	47	47	△ 41	8
製造業	△ 81	5	45	50	△ 45	36	7	43	50	△ 43	2
卸売・小売業	△ 79	10	32	58	△ 48	31	6	40	54	△ 48	0
運輸業	△ 78	4	36	60	△ 56	22	6	40	54	△ 48	8
サービス業	△ 86	12	30	58	△ 46	40	6	36	58	△ 52	△ 6
資 本 金											
5千万円未満	△ 81	7	33	60	△ 53	28	5	36	59	△ 54	△ 1
5千万以上～1億円未満	△ 84	13	39	48	△ 35	49	11	44	45	△ 34	1
1億円以上	△ 77	4	45	51	△ 47	30	5	55	40	△ 35	12
地 域											
道南	△ 85	8	38	54	△ 46	39	9	40	51	△ 42	4
道央	△ 82	8	41	51	△ 43	39	6	45	49	△ 43	0
札幌市を除く	△ 85	8	44	48	△ 40	45	4	46	50	△ 46	△ 6
札幌市	△ 79	8	38	54	△ 46	33	7	46	47	△ 40	6
道北	△ 79	10	30	60	△ 50	29	9	37	54	△ 45	5
オホーツク	△ 77	5	29	66	△ 61	16	2	33	65	△ 63	△ 2
十勝	△ 81	9	31	60	△ 51	30	3	38	59	△ 56	△ 5
釧路・根室	△ 80	5	33	62	△ 57	23	8	35	57	△ 49	8

7 業種・圏域別企業経営者の声(令和2年7-9月)

【建設業】

道南	・経済活動が停滞していることで、公共投資にどのように影響が出るのか、不安に思われます。 (建築一式工事請負業) ・コロナ対策に多くの予算が計上され、国土強靱化対策等の予算が減額されるのではないかと心配しております。(一般土木建築工事業) ・新型コロナウイルス感染防止対策等により、令和3年度国家予算から、公共工事費等が減額されることが予想されます。異常気象の関係で、各地で災害が発生しています。道も復旧費の削減に影響することなく、通常予算を組んでほしい。また、国にも要望してください。(土木工事業(舗装工事業を除く))
道央	・建設業界は根本的に技術者不足で、コロナに関係無く企業継続に深刻な問題となっている。 (総合建設業) ・新型コロナウイルスで先が見えません。さらに、設備の更新には注意が必要と考えます。経営にも二者択一の事案もこれから出てくると思います。経営の体質を再度見直し、改善して行きますが、時代の波に乗り遅れることなく事業を回して行く所存です。(建築工事業(木造建築工事業を除く)) ・今後、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の懸念があり、国・道に対しては、連携強化をお願いしたい。(舗装工事業)
道北	・当社自体は今回の新型コロナの直接的な影響は少ない状況。一方、納入資材の遅れや、発注官庁におけるテレワークにより業務の遅れが発生しているため、間接的に影響を受けている。公共工事の予算が今後どうなるかわからない心配がある、過大なコロナ報道は問題がある。冷静な呼びかけが必要ではないかと思う。(土木工事業(舗装工事業を除く)) ・コロナ関連での影響は今のところ軽微に留まっているが、今後が心配。感染拡大防止と経済活動のバランスに配慮したスピーディーかつタイムリーな施策と、補助・助成金に関しては手続き面を中心に弾力的かつ持続的な対応を期待している。(建築工事業(木造建築工事業を除く)) ・新型コロナは従来からあるインフルエンザと同等として扱い、高齢者と持病のある方に注意をはかりながら経済を回す政策を行ってください。サービス業が衰退し、製造業の倒産が増えていくと、どんどん失業者が増えていきます。 (木造建築工事業) ・道内経済は公共工事依存度が高く、民間需要が減少しているので、公共工事予算の維持を期待します。 (土木工事業)
十勝	・今以上の、行政手続きの簡素化に期待します。北海道の広域低人口の特徴から、B/C値の活用方を今以上に改善いただきたい。地域建設業の確保の必要性からもインフラ保全のための公共事業の予算確保に引き続き重点を置いていただきたい。(土木工事業(舗装工事業を除く))

【製造業】

道南	・新型コロナウイルス感染症が早く終息し、通常の経済活動に戻りたい。(水産食料品製造業)
道央	・中小零細の当社にとってこれからの企業計画をどのように立案すればよいか考えが浮かばない。 (農業用機械製造業(農業用器具を除く)) ・先が見えない中での経営は非常に辛い。行政には無利子、無利息など資金繰りのサポートを強力に押し進めていただきたい。(農業用機械製造業(農業用器具を除く)) ・新北海道スタイルに取り組んでも、コロナ感染治療薬が開発されるまで、道民の自粛傾向の意識は強く、なかなか従来の様な経済活動に戻れるとは思えない。(調味料製造業) ・受注商品は、直接新型コロナの影響を受けるものでもないのに、業績が大きく変動するレベルまで落ちる

	ことはないと思われるが、従業員の感染による生産能力の低下が一番心配なところ。最近、医療関係者向けの使い捨て防護服生産の話が来て、一部対応も始めているが、常時社員募集はかけているものの、待遇面で不利な業界のため若手が集まらず、思うようには増産体制を整えられないのが現状。 (外衣・シャツ製造業(和式を除く)) ・12月以降の雇用調整助成金の延長を期待する。(電子部品製造業)
道北	・北海道の稚内市という立地から、セミナー・講演・説明会などがZOOM等のWEB上で行われることは大変ありがたい。補助金・助成金など様々な支援、またその申請方法など、各機関が各社を回り意見交換などを行う際、どうしても稚内は少なくなる。そういった部分もWEBなどを使って、頻繁に情報交換できるようにしていただきたい。(水産食料品製造業)
オホーツク	・いつまで継続できるか分からない。(帆布製品製造業) ・今のところは特になし。ただ、これからどうなるかわかりません(看板・標識機製造業)
十勝	・航空機産業(国内・国外)の早期復活と各種イベントの開催、特効薬及びワクチンの早期提供を期待する。(菓子・パン小売業(製造小売)) ・この難局を乗り切るため全社一丸となって頑張っていく決意であります。北海道も限られた予算の中、最善の予算の組み方、使い方をお願いしたいと思います。 (建設用・建築用金属製品製造業(製缶板金業を含む))
釧路・根室	・このままで行って、資金繰りがもつのか心配。(製材業、木製品製造業) ・装置産業のため工場内(作業現場)で感染の場合、操業を止めなければならず、感染予防対策を徹底している。(紙製造業) ・水産依存からの脱却、新規獲得、既存ユーザーのシェアアップが課題。(紙製容器製造業)

【卸売・小売業】

道南	・現状は危機的状況までには至っておりませんが、先行き見通しとしては相当厳しくなる見込みを持っています。他業種同様に苦しんでいる自動車業界の現状を理解いただき、自動車税等の見直しの促進を大きく期待したいです。(自動車(新車)小売業) ・前向きな話題を取り上げ、気持ちを明るくさせるように提案してください。(婦人・子供服小売業)
道央	・新型コロナウイルス感染症は続いているので、一度の支援ではなく継続して行っていただきたい。そうしなければ北海道内の中小企業がなくなってしまいます。(衣服卸売業) ・国産のワクチン、治療薬の早急な開発・普及を強く期待している。(衣服卸売業) ・現状のままでいつまで営業できるか不安。(婦人・日用雑貨小売業、紳士服洋品) ・全道的に地方エリアへの公共工事を増やして欲しい。(燃料小売業) ・新型コロナウイルス感染症により公共投資が削減されると客先の打撃が大きいので、継続を強く希望いたします。(建築材料、鉱物・金属材料等卸売業) ・早期のワクチン、薬の開発・適用を期待する。(食料・飲料卸売業) ・顧客の資金繰りが厳しく、売上回収が難しい顧客が出ている。(医薬品・化粧品等卸売業)
道北	・人件費の高騰はコロナ現況中、経営を圧迫している。これから徐々に人件費を上げていくことは先延ばししていく。(その他の飲食料品小売業) ・コロナワクチンを早めに。(食肉卸売業) ・当社は売上が減っておりますが、店舗売りが好調で利益率が上昇しており、最少人数で回して行ければ資金繰りに困らないように感じております。(飲食料品卸売業)
オホーツク	・北海道の農産物の加工の需要が減ってきていることで、北海道の農産物の価格が低迷してきています。不作、豊作はありますが、日本の農産物の中で北海道が占める割合が多い中、ホクレン、JAだけではなく、安定供給が出来るシステムを望みます。(野菜・青果卸売業)

	・建設業界に携わっているが、コロナの影響は他業種（サービス業関連）に比べるとまだ良い方だと思う。支援金など国の対策でかなりの資金を使っているの、来年度予算で公共事業費などを抑えられるとこの業界もかなり厳しくなってくると思う。（建設資材卸売業） ・今後、国の補助金制度の件と、道に対する予算額がどの様になるのかが当面の心配事です。（産業機械器具卸売業）
十勝	・コロナとは関係ありませんが、自動車整備業界で働く人材が不足しております。コロナ禍で、仕事を探している人、転職を考えている人達にアピールできると良いと思います。（自動車小売業）
釧路・根室	・コロナによって特に影響が大きい業種（飲食、宿泊、観光等）に、今以上の経営継続の対策を取ってください。（食肉小売業）

【運輸業】

道南	・コロナ禍の中、まだまだ先が見えず、経営が悪化するのとは避けることが出来ない中、持続化給付金の追加、雇用調整助成金の延長、家賃支援給付金の延長など、再度調整して欲しい。（内陸水運業） ・9月を迎えて上向きになっています。（一般貨物自動車運送業）
道央	・道民・国民の幸福第一に災害、病気から立ち直りやすい、若者の自殺が減る、生き甲斐の持てる生きやすい国にしてほしい。（一般貨物自動車運送業） ・今のところコロナによる事業への影響は軽微であるが、感染の収束が見えない分、不安は残る。（倉庫業、湾港荷役機械の経営管理） ・コロナを一刻も早く終息させることが、景気回復の唯一の特効薬だと思います。そのためにはワクチン開発だけでなく特効薬の開発も並行して進めていただきたいです。（倉庫業、運送業）
オホーツク	・事業譲渡の斡旋を期待する。（一般乗用旅客自動車運送業）
十勝	・新型コロナウイルスの感染が収まらなければ、人は動かないし経済も活性化しない。感染を収束させるためにも、医療の分野への予算を手厚くする必要があると感じます。（乗合・貸切旅客自動車運送事業） ・雇用問題、少子高齢化で人口減少していることへの本気の対策がなされていないのではないのでしょうか。目先の雇用問題で経営しづらい世の中で、不景気感が5年以上続くと思われます。結婚率や出産率を大幅に上げる対策が大規模に必要だと思います。（一般貨物自動車運送業、土木工事業（舗装工事業を除く）） ・コロナ終息、給付金の拡大を期待する。（一般乗用旅客自動車運送業）
釧路・根室	・タクシー運転手のコロナ感染が報じられる毎に客足が減っている（一般乗用旅客自動車運送業）

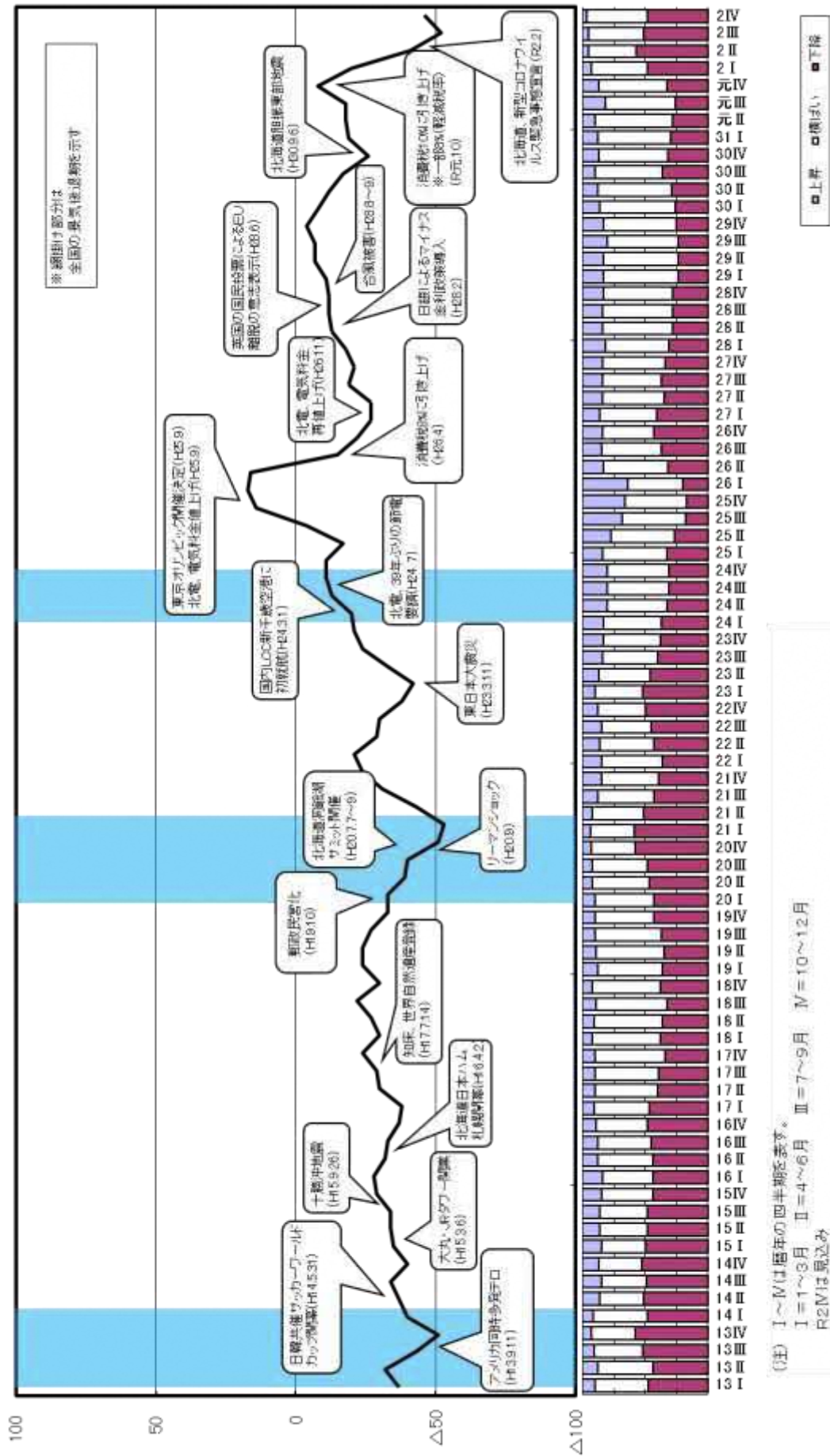
【サービス業】

道南	・移動自粛で大手企業の転勤が減少しており、退去しても転入が延期になっている企業が多い。コロナによる生活必需品の人の出入りは見られますが、それ以外は自粛傾向なので、回復に期待しております。（電気通信に附帯するサービス業） ・更なる支援金（課税の免除）を期待する。（自動車一般整備業） ・コロナに関する迅速で正確な情報の提供を望む。（測量業） ・小企業が生きのびるための配慮を期待する。（情報処理・提供サービス業） ・持続化給付金のような支援や税金の減免をしてほしい。（旅館・ホテル） ・道の助成金にしても、補助金にしても、事務手続きがめんどろなことが多い。国の方がまだ申請しやすいので、このコロナ禍にあって、もっと簡便なものにして欲しい。（旅館、ホテル） ・新型コロナウイルス感染症の終息と経済（特に観光客）の回復を期待している。（タワー搭乗、土産品等小売業） ・どうみん割、GOTOプラン利用が増えたため、キャンペーン中においてはお客様の動きが多いですが、割引に慣れ、次年度において割引がなくなった時の不安が有ります。（旅館、ホテル）
----	--

	・雇用調整助成金の来年３月までの延長をお願いしたい。（旅館、ホテル） ・従業員が高齢化しており、後継者不在が課題。（自動車整備業）
道央	・テレワーク設備に対するより積極的な助成が必要と思う。（警備業） ・すすきのばかりが悪く言われるのは辛いです。以前、市の職員がすすきのでプラカードを持って歩いていました。このようなことはもうやめてください。（すし店） ・経営は非常に悪化しており、どこまで資金がもつか不安の毎日です。（配達飲食サービス業） ・宿泊客が共用部（ロビーとかエレベーター）でマスク着用しないで咳をするのが一番心配です。（旅館、ホテル） ・１月２月の客足が心配です。（酒場、ビヤホール） ・廃棄物の収集運搬がメインの仕事ですが、登別温泉の集客が不安です。とにかく作業員の数が足りない。今後の人口減が不安です。（一般廃棄物産業廃棄物収集運搬業） ・とにかくにもお客様が来ない。来ないと売上が減少し、経費削減にも限界がある。（専門料理店） ・観光地であるため今後の冬場（１１～４月）の集客に難があるのではと懸念しています。オフに資金が回るようなお客様が見込めるかが不安です。ＧＯＴＯもさることながら、割り当てが前回極端になかったどうみん割の拡充を望みます。（旅館・ホテル） ・社員を守るように、何らかの税金や社会保険料の軽減を望む。（自動車整備業） ・コロナ禍での倒産を避ける意味で、中小企業が合併すると助成金等が貰えるというのはどうでしょうか。（情報処理サービス業） ・ＧＯＴＯトラベル終了後の先行き不透明感の中、資金繰りの不安がある。（旅館、ホテル） ・公共工事の設計の下請業者です。コロナを理由に元請けが工期をのばすことで下請けに仕事が入ってこないのは困ります。（土木設計業） ・すでに損益分岐点は少々下回っている。冬場の暖房時期が来て、Ａ重油代がかかると大赤字に成りかねない。コロナを早く一般の風邪扱いにしてもらいたい。（スポーツ施設提供業） ・海外渡航の条件の緩和が待たれます。（旅行業） ・国の雇用調整助成金のコロナ特例が１２月までに延長になっているが、終了後多くの宿泊・飲食業で解雇や倒産が考えられる。この冬の北海道観光入込数も全く予想できず、インバウンドの受け入れも順次拡張されると思うが、その際、水際の安全対策を徹底的に行わなければ相当厳しい結果になると予想する。延期になったオリンピックの開催も不透明であるので、来期の見通しは決して明るくない。安心・安全なワクチンの開発・普及が鍵であることは言うまでもない。一方、リーマンショック時の様なバブル経済から大きくマイナス転換した訳ではないので、コロナの世界的対策が整えば回復は大きなＶ字だと考える。ＧＯＴＯトラベルに関しては、施設により大きく二分化されている恩恵をもう少し平等に配分される仕組みづくりが必要だったと思う。（旅館・ホテル） ・この状態が続けば事業が立ち行かなくなり、廃業を検討しなければならないと思う。（旅館、ホテル） ・新しい生活スタイルに関するインフラ整備の推進をお願いします。（産業用機械器具賃貸業） ・支援金、給付金、助成金の拡充を望みます。（旅館、ホテル） ・雇用調整、緊急対策助成金によって雇用を維持しています。願わくば、売上が完全に回復するまで現状の制度が続くことを期待します。（旅館、ホテル） ・我々は札幌市内業者であるが、周辺地域とのマイナスな温度差がある。すなわち、札幌市内における行政指導及び許認可等が周辺地域に比べ相当厳しく思われ、周辺地域へ公平な指導をお願いしたい。（産業廃棄物処理業） ・若手従業員が不足。（自動車整備業）
道北	・支援金・給付金・助成金の拡充、需要喚起を望みます。（旅館、ホテル） ・地方での人手不足に道全体として取り組んでほしい。（旅館、ホテル） ・新型コロナウイルス感染症終息後のコロナ対策による財政悪化を懸念しています。（土木建築サービス業（測量業））

	・補助の対象とならないため、このままでは従業員を解雇しなければなりません。しっかり納税しているのに不公平です。(旅館、ホテル) ・施設が古くスペースが狭い作りなので、ソーシャルディスタンスを心掛けているが難しいと感じる。また、業者の宿泊が多い上、田舎でコロナ感染者が出ていない地域だからか、お客様がマスクをしていない場合がほとんど。アルコール消毒を各所に設置し、従業員は全員マスク着用しているが、GOTOトラベルの対象地域が東京在住の方も含まれた上、都会からの宿泊も増えており不安である。市の助成金等で換気扇を設置したり抗菌タイプの塗料でとを考えているが、売上減少と今後の融資の返済も考えると気が引けてしまう。(旅館・ホテル)
オホーツク	・8月くらいから影響が出てきた。元々高齢化による人手不足のうえ、残業削減、休日増加で仕事がこなせなくなってきている。今後のことを考え、人を募集しているが集まらない。一方で売上減少により先が見えず、人を増やすことにより人件費が増え、経営への影響も心配である。(自動車整備業) ・「道民割」が道内全体に行き渡るように、マイカー、レンタカーの高速料金を無料にしてほしい。燃料費(ガソリン代)の補助も実施してほしい。(旅館・ホテル)
十勝	・新型コロナ対応で急遽オフラインでのテレワークを実践しましたが、年度内にセキュリティを確保したテレワークの本格稼働を目指しています。喫緊の重要課題としては、同一労働同一賃金の適用に向けて、年度内に就業規則の改正、正社員以外のパート等の職員の処遇の見直しを行うべく、その準備に注力しています。(土木建築サービス業(建築設計業)) ・様々なオペレーションが増え、現場スタッフが困惑している。(旅館、ホテル)
釧路・根室	・新型コロナウイルス感染症が終息せず、従業員の給与等が心配です。雇用調整助成金の制度も活用しておりますが、パートスタッフ(外注等の方)の今後の確保など、特に心配しております。何せブライダルの仕事は一般の美容室とは技術が異なるのです。(美容業) ・北海道内の事業者との取引はほとんどないのですが、地元では非常に不景気感を感じます。行政には、景気回復の対策と同時に、コロナウイルス感染予防対策の両面からサポートを期待します。どちらか一方に偏った対策では、長期的にみて良くない結果になると感じています。(情報サービス業) ・社会保険料や消費税の猶予を望みます。(旅館、ホテル)

8 業況感の長期推移

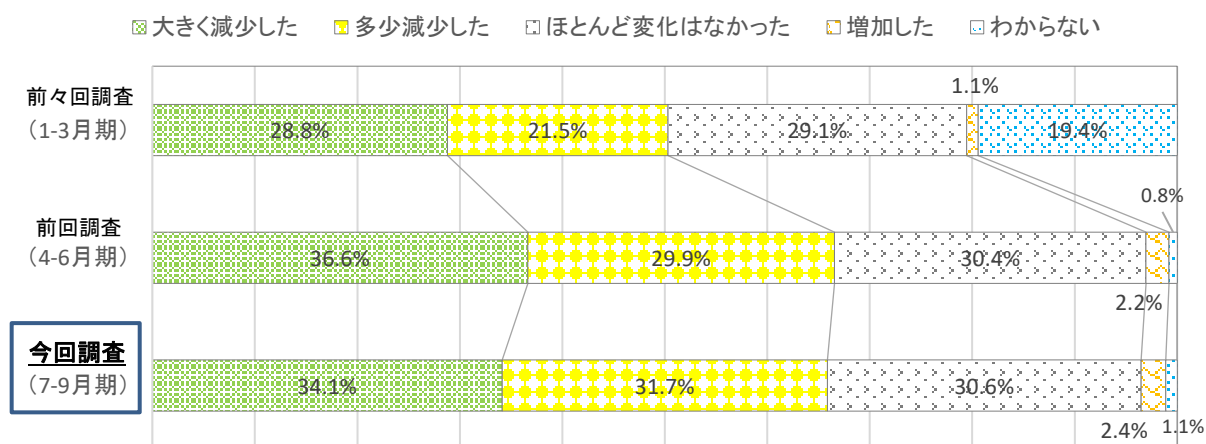


3 特別調査

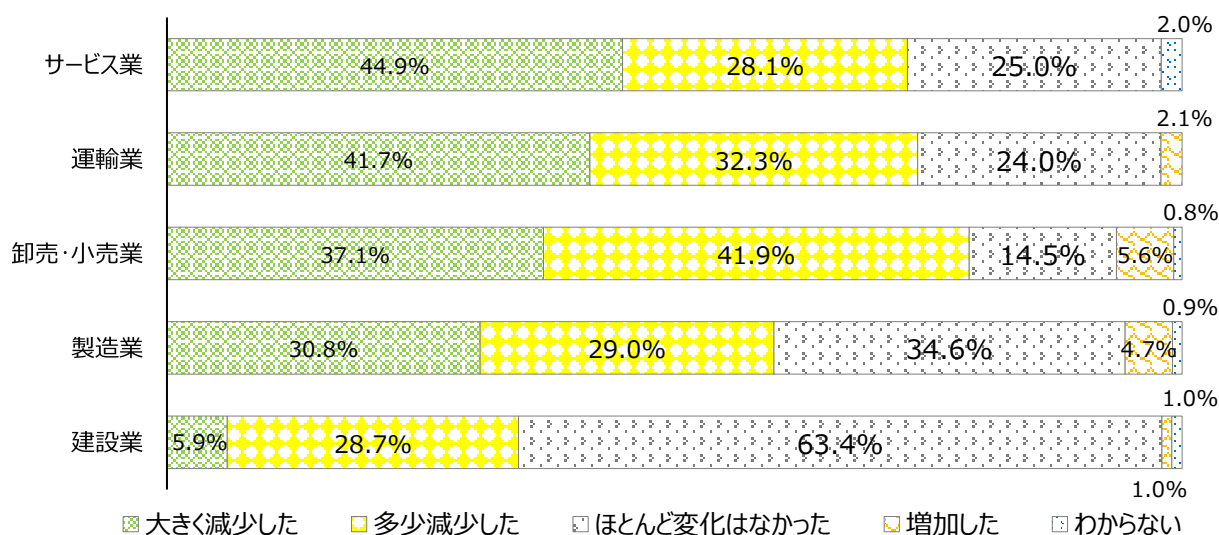
新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

1 新型コロナウイルス感染症の拡大による本年6～9月における売上・利益等への影響の程度

・売上・利益等への影響については、全体では「大きく減少した」が34.1%、「多少減少した」が31.7%と、合わせて65.8%の企業が「減少した」と回答している。前回調査による2～5月における売上・利益等との比較では、「減少した」の割合は縮小している。

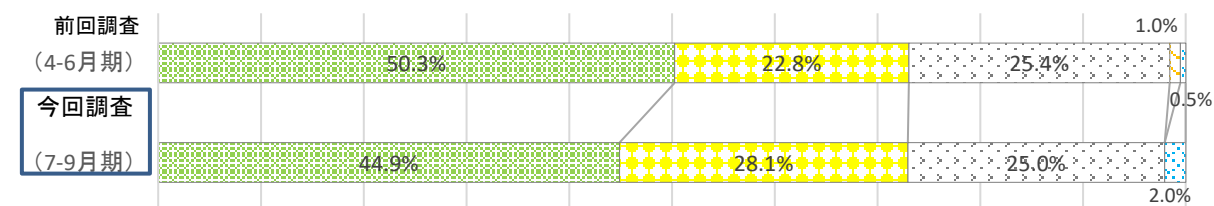


・業種別では、「大きく減少した」と回答した企業の割合は運輸業とサービス業で44.9%と最も大きく、次いで運輸業が41.7%となっており、建設業は5.9%と最も小さくなっている。

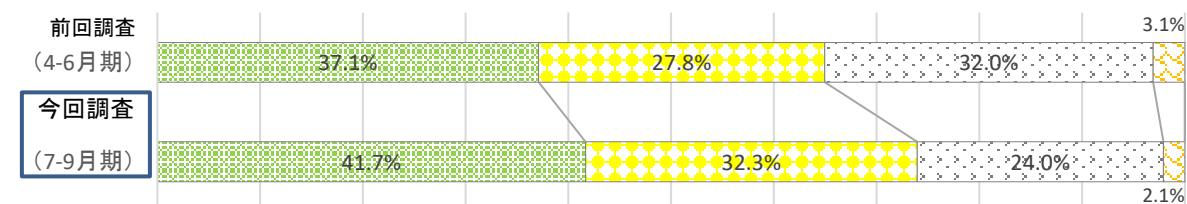


前回調査との比較では、「大きく減少した」と回答した企業の割合は、運輸業と製造業で悪化が認められる一方、サービス業や卸売・小売業などでは改善が認められる。

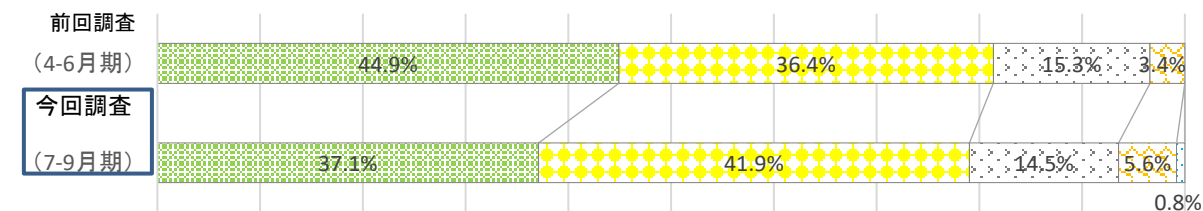
サービス業



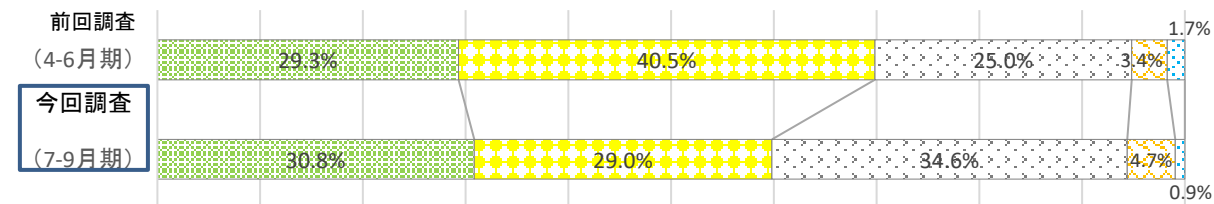
運輸業



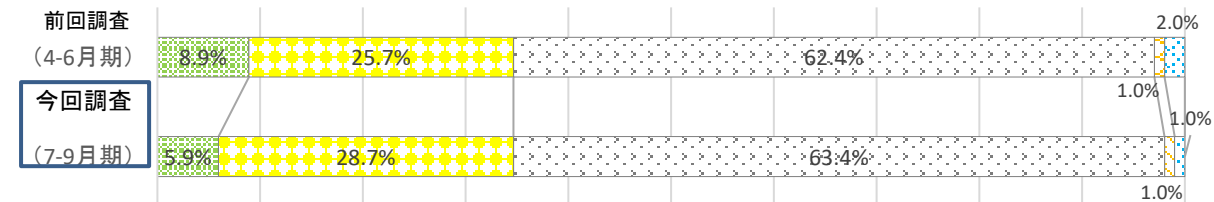
卸売・小売業



製造業

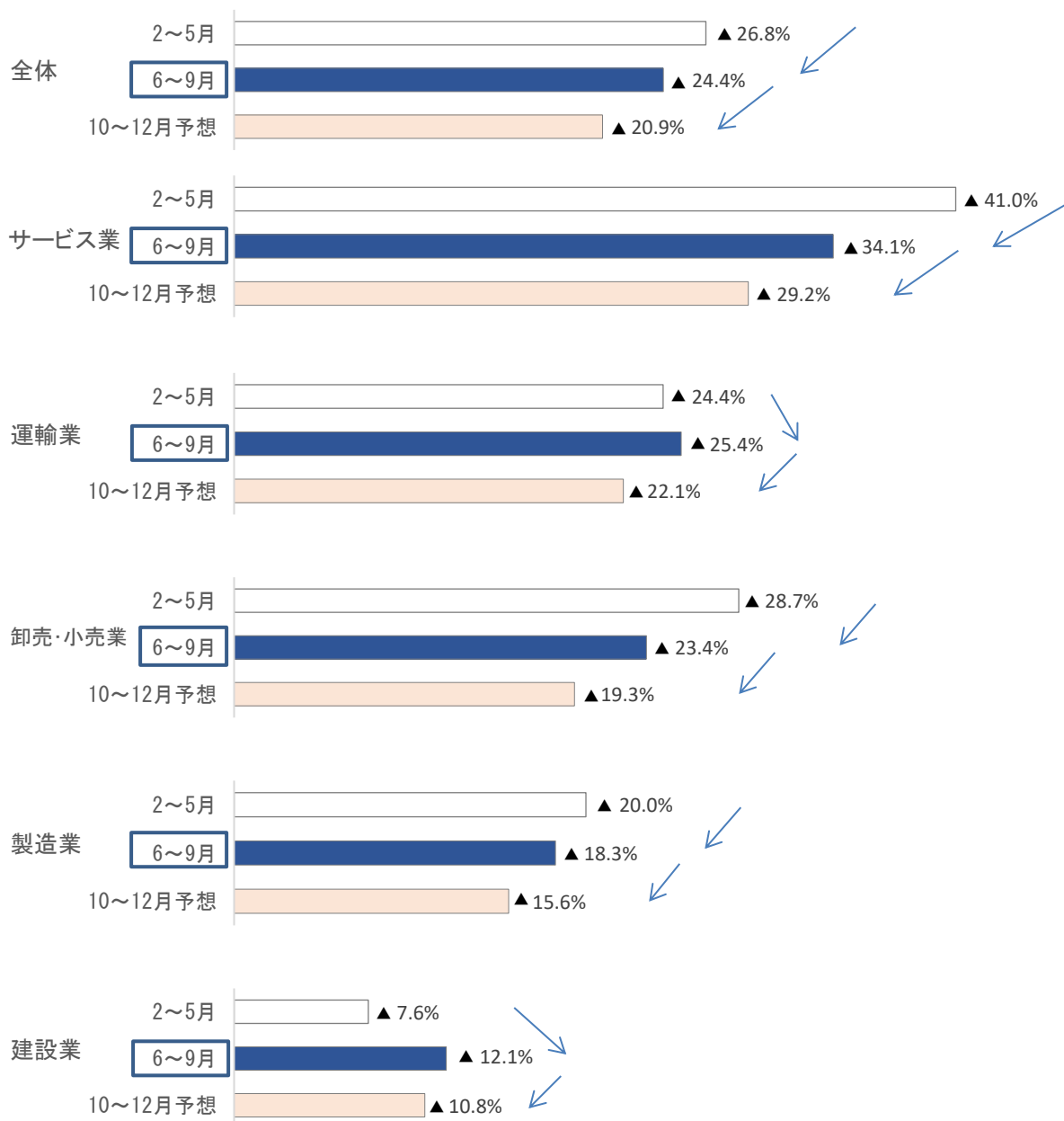


建設業



2 令和2年の6～9月における売上の前年同期比減少率

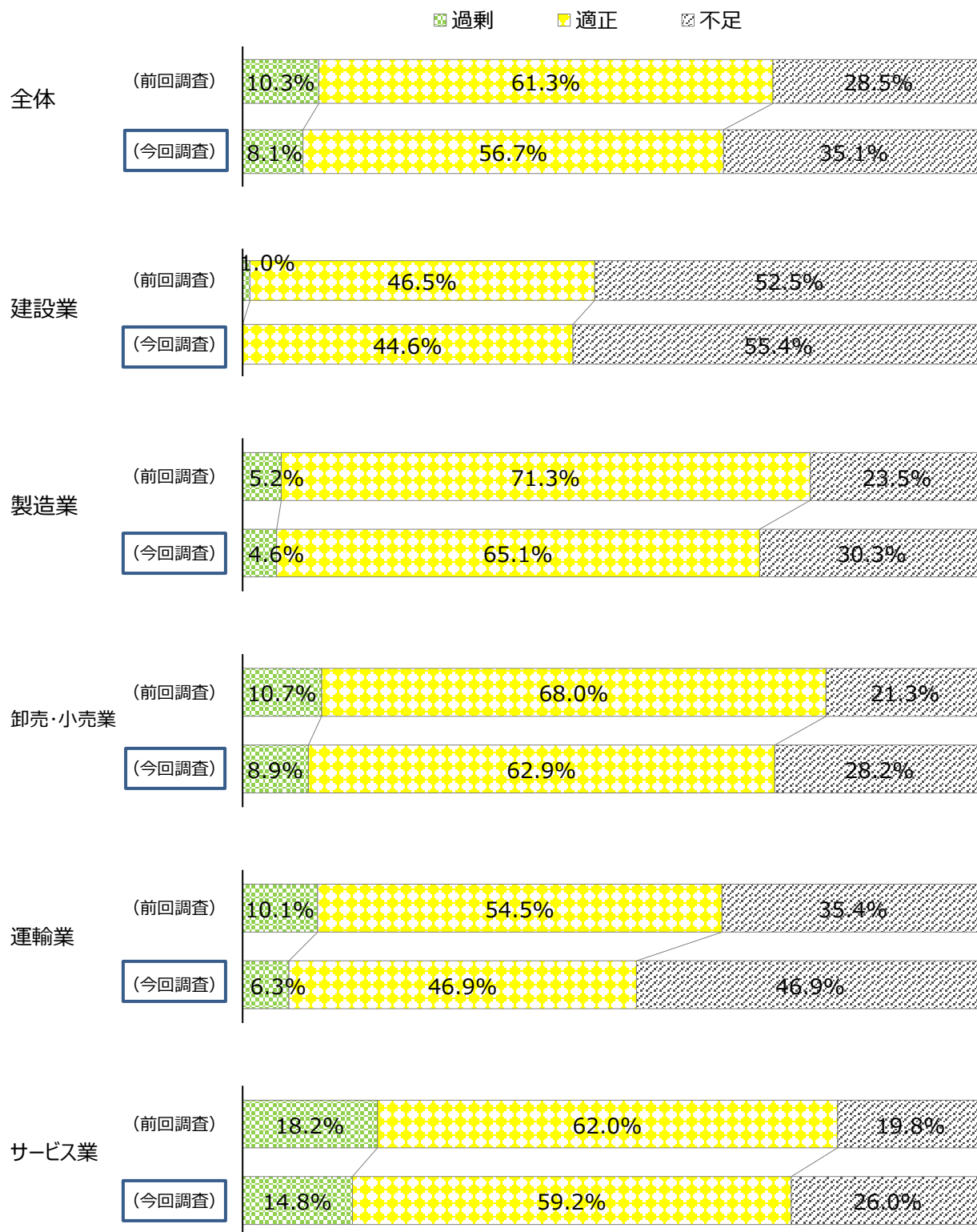
- ・本年6～9月における売上の前年同期比減少率の平均は、全体では▲24.4%で、2～5月との比較では減少率は2.4ポイント縮小している。業種別ではサービス業が▲34.1%と最も減少率が大きくなっており、2～5月との比較では、サービス業、卸売・小売業、製造業で縮小し、運輸業と建設業で拡大している。
- ・また、10～12月期における売上の前年比減少率予想の平均は、全体では▲20.9%で、6～9月期と比較すると総じて改善を予想している。



3 正規及び非正規従業員の過不足感

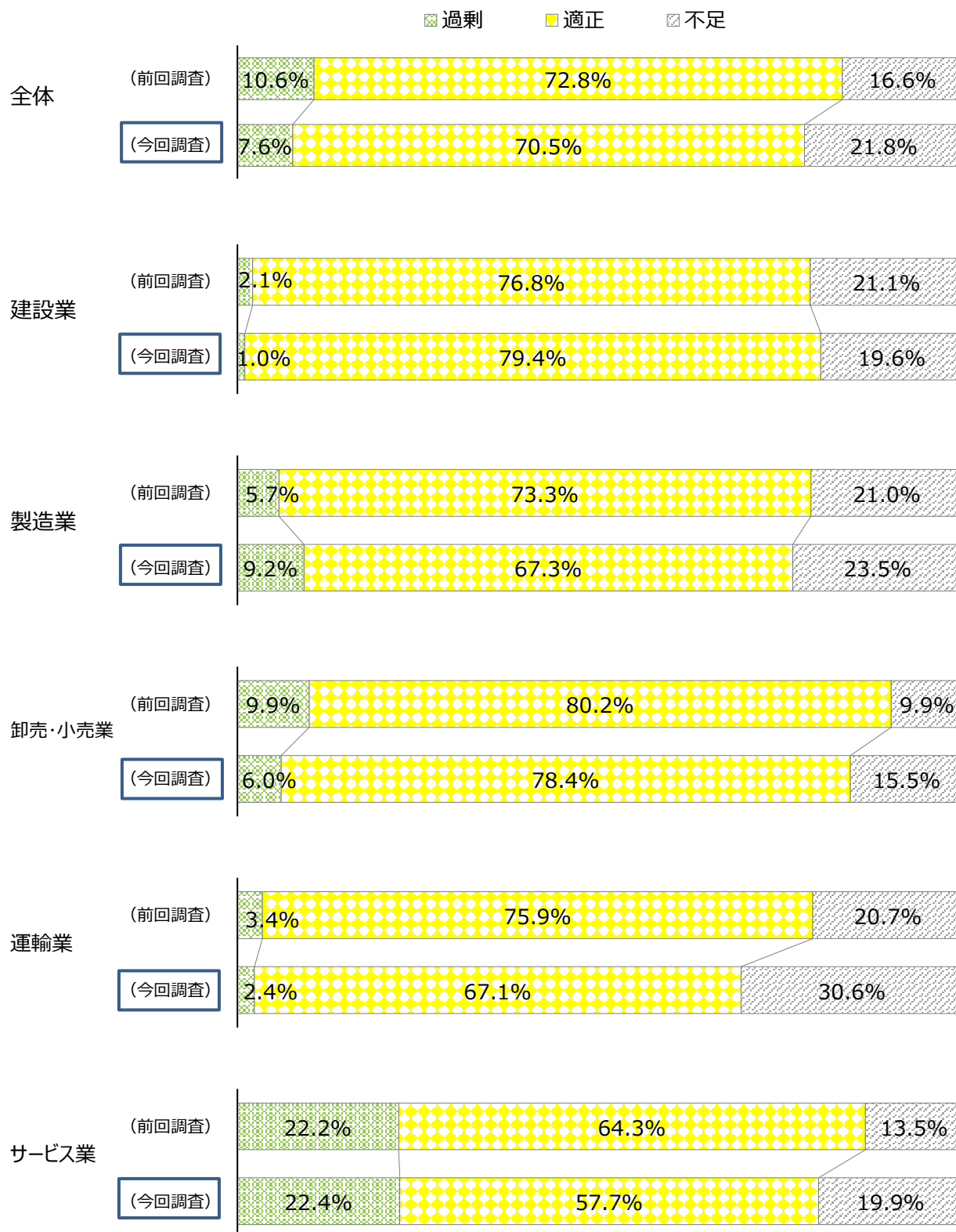
- ・正規従業員については、全体では「過剰」が8.1%、「適正」が56.7%、「不足」が35.1%となっており、不足感が過剰感を上回っている。
- ・業種別でも、全ての業種で「不足」が「過剰」を上回っている。

正規従業員



- ・非正規従業員については、全体では「過剰」が7.6%で、「適正」が70.5%、「不足」が21.8%となっており、不足感が過剰感を上回っている。
- ・業種別では、サービス業で「過剰」が22.4%と、「不足」の19.9%を若干上回っている。また、「不足」は運輸業で30.6%と最も大きく、前回調査から9.9ポイント拡大している。

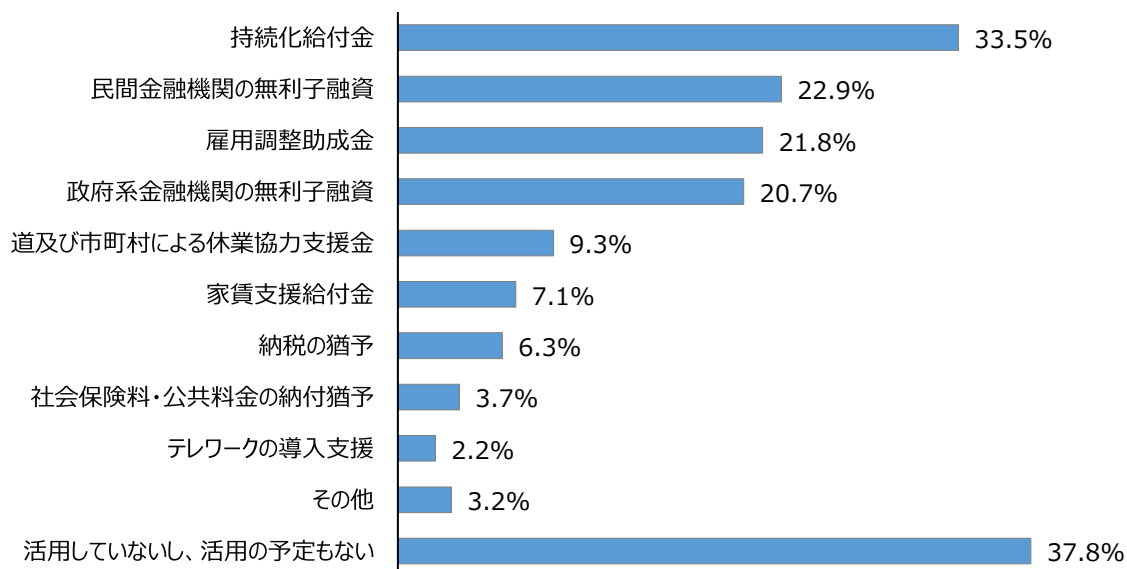
非正規従業員



4 国、道等の助成制度のうち活用したもの（予定を含む）

- ・活用している助成制度のうち最も多かったものは「持続化給付金」の33.5%で、次いで「民間金融機関の無利子融資」が22.9%、「雇用調整助成金」が21.8%となっている。
- ・一方、4割弱の企業が「活用していないし、活用の予定もない」と回答している。

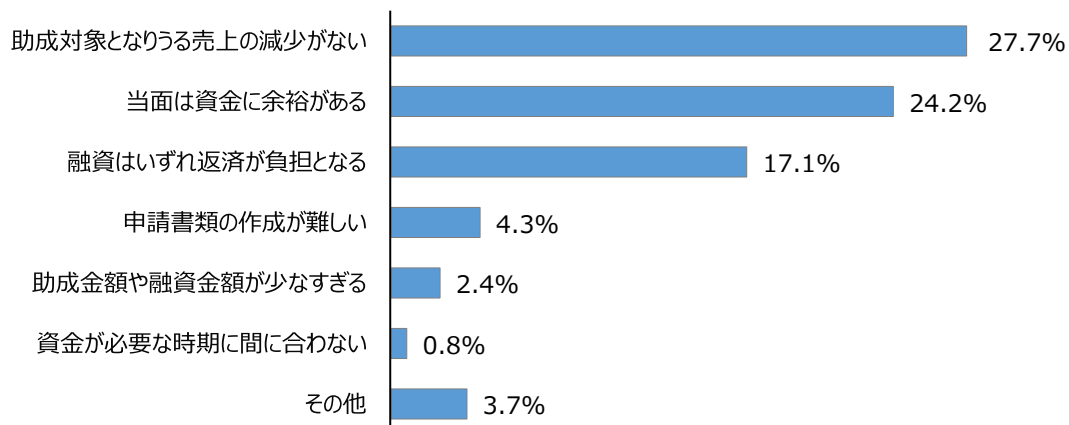
（複数回答）



5 国、道等の助成制度を活用していない理由

- ・上記の助成制度の一部または全部を活用していない場合の理由として最も多かったものは、「助成対象となりうる売上の減少がない」の27.7%で、次いで「当面は資金に余裕がある」が24.2%、「融資はいずれ返済が負担となる」が17.1%となっている。

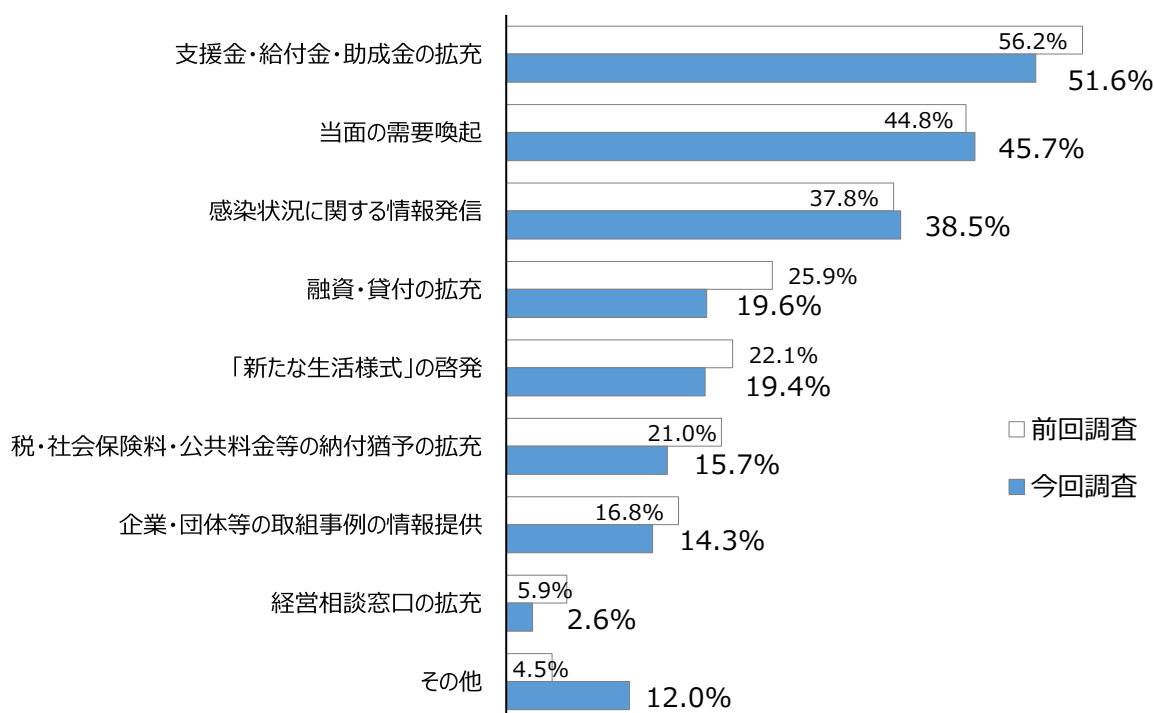
（複数回答）



6 感染症による影響に関し、行政（国、道等）に期待すること

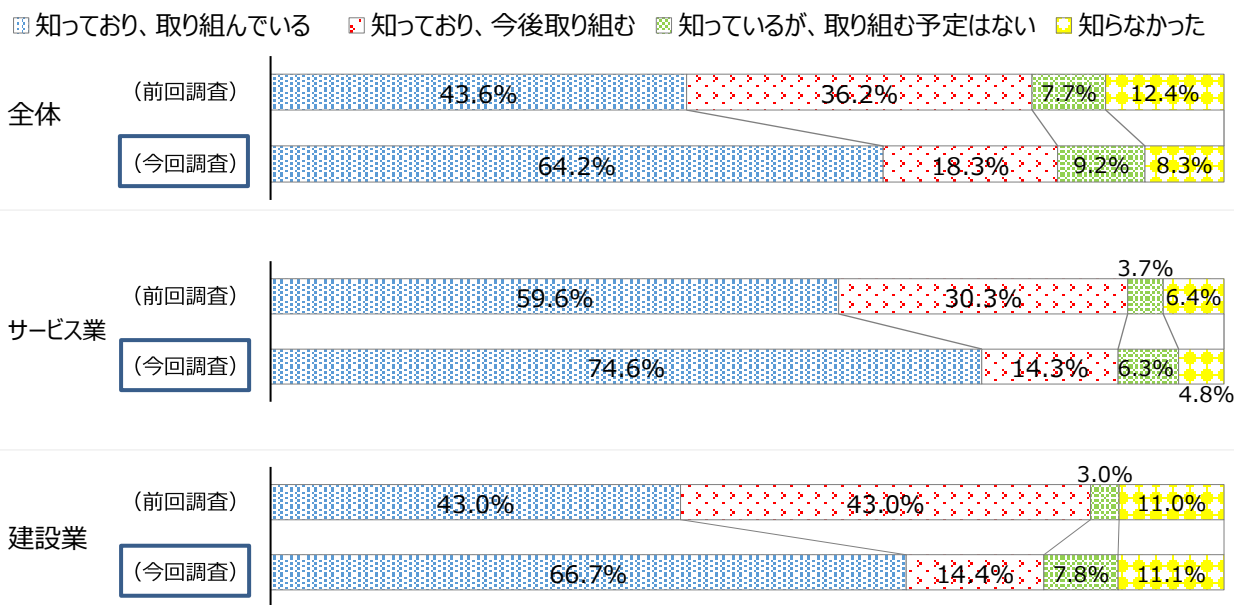
- ・最も多かった回答は「支援金・給付金・助成金の拡充」の 51.6%で、次いで「当面の需要喚起」が 45.7%、「感染状況に関する情報発信」が 38.5%となっている。

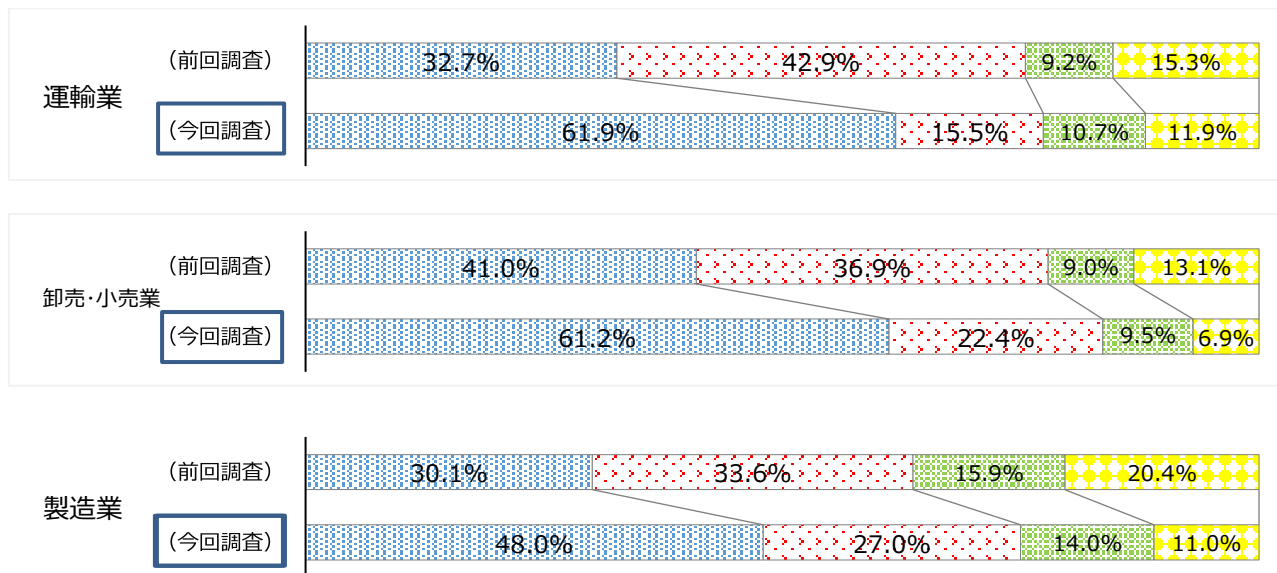
（複数回答）



7 「新北海道スタイル」の認知度

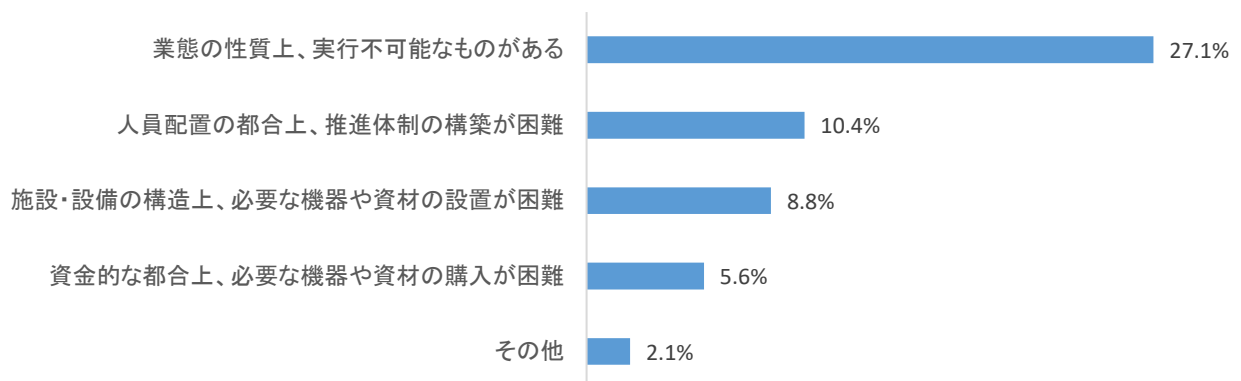
- ・道が提唱している「新北海道スタイル」については、全体では、「知っており、取り組んでいる」が 64.2%、「知っており、今後取り組む」が 18.3%で、合わせると認知度は 82.5%（前回：79.8%）となっている。業種別では、「知っており、取り組んでいる」がサービス業で 74.6%と最も大きくなっている。
- ・前回調査と比べると、全般的に取り組んでいる企業は増加している。



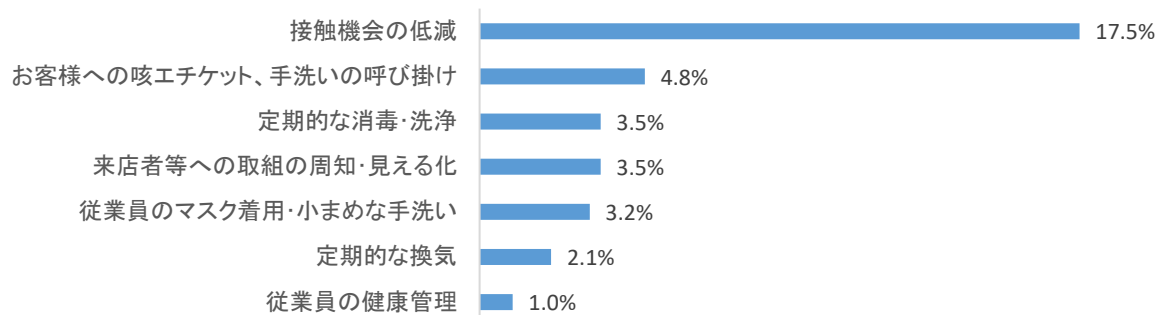


8 「新北海道スタイル」について取組が困難な理由

- ・最も多かった回答は「業態の性質上、実行不可能なものがある」の27.1%で、次いで「人員配置の都合上、推進体制の構築が困難」が10.4%となっている。（複数回答）

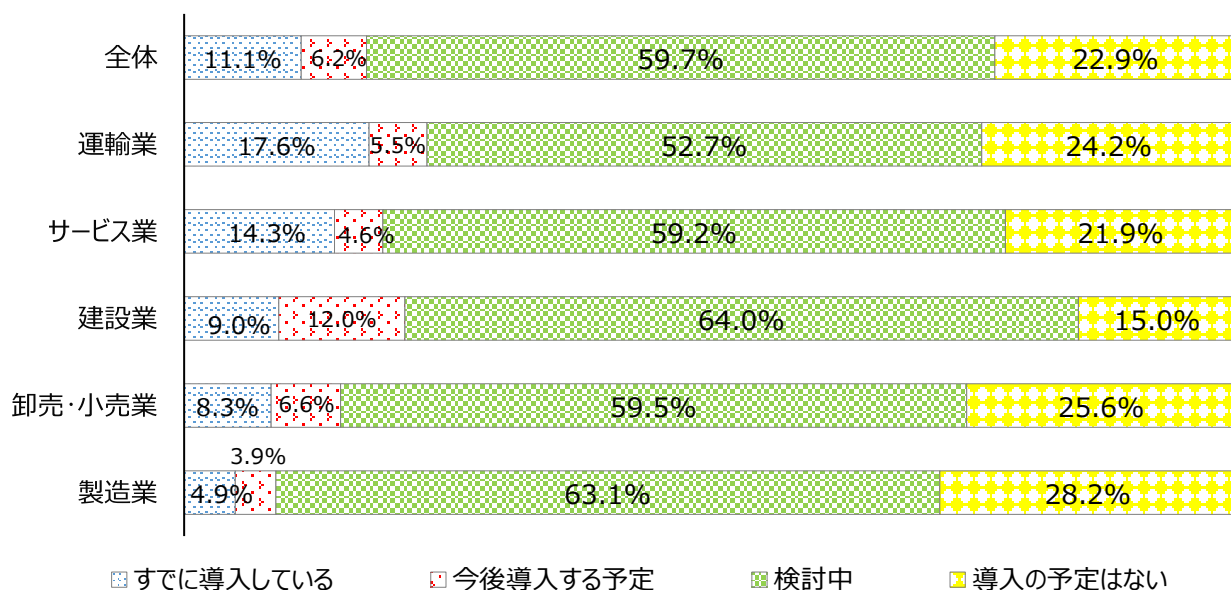


※上記の「業態の性質上、実行不可能なものがある」の内容（複数回答）



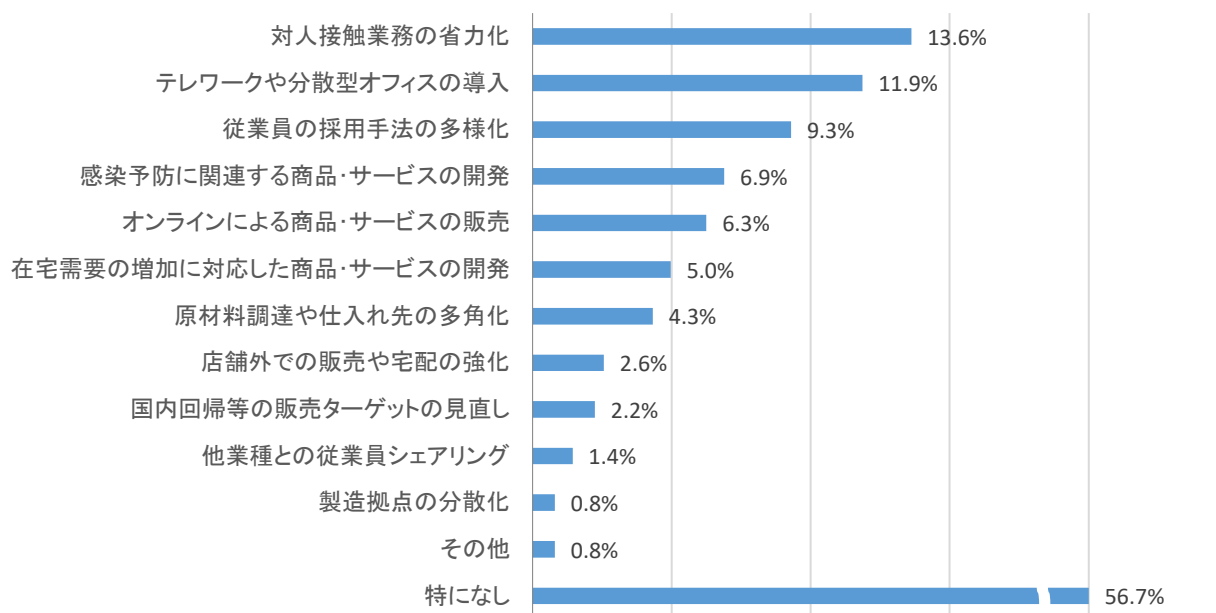
9 「北海道コロナ通知システム」の導入状況

- ・全体では、「すでに導入している」が11.1%、「今後導入する予定」が6.2%、「検討中」が59.7%となっている。
- ・業種別では、「すでに導入している」が運輸業で17.6%と最も高くなっている。



10 感染症拡大を契機とする新しいビジネススタイルの導入状況

- ・最も多かった回答は、「特になし」が56.7%で、次いで「対人接触業務の省力化」が13.6%、「テレワークや分散型オフィスの導入」が11.9%、「テレワークや分散型オフィスの導入」が11.9%となっている。（複数回答）



4 調査方法

1 調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

2 調査時点

令和2年9月30日

3 調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

4 調査対象及び回答企業数

区 分		調 査 対 象 企業数 (A)	回 答 企業数 (B)	回答率 (B/A・%)
総 計		900	633	70.3
	札幌市を除く	700	497	71.0
	札幌市	200	136	68.0
業 種	建設業	125	101	80.8
	製造業	150	110	73.3
	卸売・小売業	189	125	66.1
	運輸業	131	96	73.3
	サービス業	305	201	65.9
資 本 金	5千万円未満	617	419	67.9
	5千万以上～1億円未満	157	121	77.1
	1億円以上	126	93	73.8
地 域	道南	109	76	69.7
	道央	382	268	70.2
	札幌市を除く	182	132	72.5
	札幌市	200	136	68.0
	道北	132	90	68.2
	オホーツク	89	65	73.0
	十勝	94	68	72.3
	釧路・根室	94	66	70.2

(注) [道南]・・・渡島総合振興局、檜山振興局
 [道央]・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局
 [道北]・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局
 [オホーツク]・・・オホーツク総合振興局
 [十勝]・・・十勝総合振興局
 [釧路・根室]・・・釧路総合振興局、根室振興局

5 B S I (Business Survey Index) 指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各B S I 指標を次により算出。

$$B S I = (\text{「上昇」とする企業の割合} (\%)) - (\text{「下降」とする企業の割合} (\%))$$

$$(-100 \leq B S I \leq 100)$$

【計算例（企業数：200社）】

業況感について、「上昇」とした企業20社、「横ばい」とした企業120社、「下降」とした企業60社の場合

$$\frac{20 \text{ 社}}{200 \text{ 社}} \times 100 - \frac{60 \text{ 社}}{200 \text{ 社}} \times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感B S I はマイナス20 ※小数点以下の端数がある場合は四捨五入



企業経営者意識調査（第 127 回）

令和 2 年 10 月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課
T E L 011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/bsi.htm>